



茨城県

# 茨城県景気ウォッチャー調査

(平成25年6月調査分)

## 《景気の現状判断DI》

	平成25年3月	平成25年6月	前回調査比
茨城県	48.9	<b>49.7</b>	+0.8
県北地域	44.5	42.1	△2.4
県央地域	50.5	50.4	△0.1
鹿行地域	47.3	52.2	+4.9
県南地域	56.1	50.5	△5.6
県西地域	45.9	53.0	+7.1

## 《景気の先行き判断DI》

	平成25年3月	平成25年6月	前回調査比
茨城県	54.9	<b>52.9</b>	△2.0
県北地域	52.0	54.4	+2.4
県央地域	58.8	53.9	△4.9
鹿行地域	52.2	51.3	△0.9
県南地域	59.0	53.2	△5.8
県西地域	52.3	51.7	△0.6

平成25年7月

茨城県企画部統計課

## 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	30

問い合わせ先

茨城県統計課庶務・企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

## 2 調査の範囲

### (1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。 ※平成25年6月1日現在

地域	市 及 び 郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

### (2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

#### 【地域別・業種別調査客体数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	38	37	36	187
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	17	17	19	20	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	4	5	4	4	21

## 3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

## 4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成25年6月調査の調査期間は、平成25年6月1日から平成25年6月30日である。

## 5 利用上の注意

- (1) D I (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第 1 位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は 100% とならない場合がある。

### ※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり 5 段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (D I) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例  
回答者数 100 名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、D I 値は、

$$(1 \text{点} \times 15.0\%) + (0.75 \text{点} \times 27.0\%) + (0.5 \text{点} \times 25.0\%) + (0.25 \text{点} \times 11.0\%) + (0 \text{点} \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5 \text{点} \times 100\%) = 50$  となることから、50 を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また 50 を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 全県の動向

#### (1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは49.7となった。平成25年3月の調査（以下、「前回調査」という。）より0.8ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を23期連続で下回った。

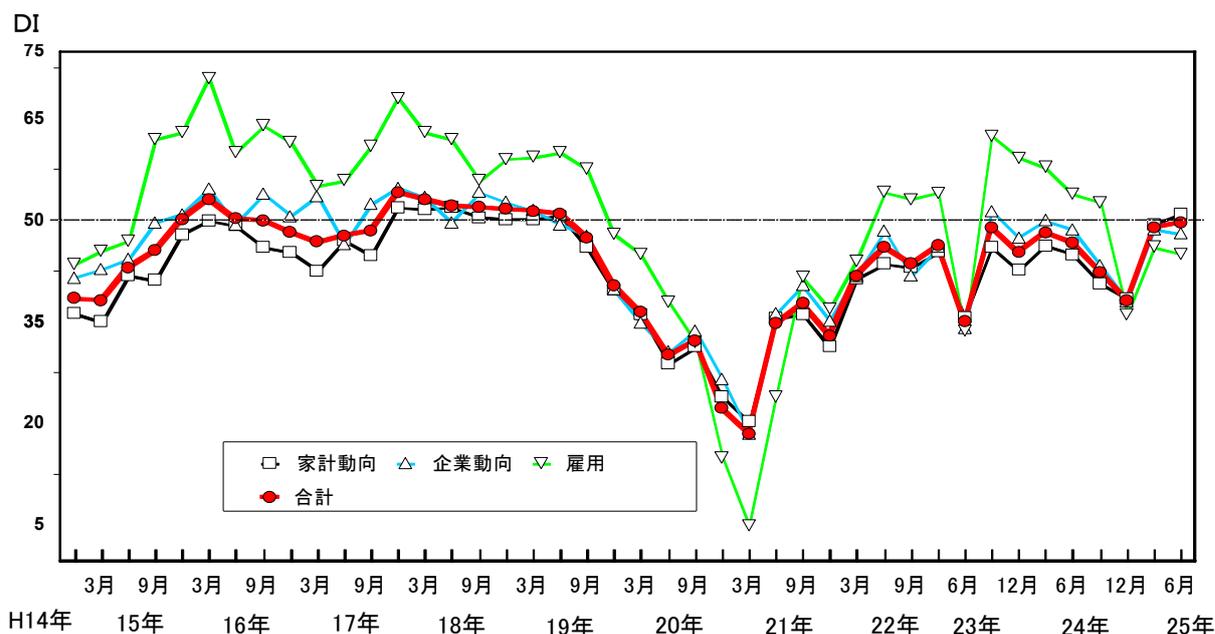
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	平成24年 6月	平成24年 9月	平成24年 12月	平成25年 3月	平成25年 6月
<b>合計</b>		<b>46.7</b>	<b>42.3</b>	<b>38.2</b>	<b>48.9</b>	<b>49.7</b>
<b>家計動向関連</b>		<b>44.9</b>	<b>40.7</b>	<b>38.4</b>	<b>49.4</b>	<b>51.0</b>
小売関連		41.5	43.5	37.3	48.5	51.4
飲食関連		55.6	40.5	41.7	50.0	47.6
サービス関連		45.1	38.0	37.5	48.5	50.0
住宅関連		47.2	41.7	47.2	61.1	63.9
<b>企業動向関連</b>		<b>48.6</b>	<b>43.4</b>	<b>38.1</b>	<b>48.6</b>	<b>48.1</b>
農林水産業		43.8	34.4	50.0	37.5	50.0
製造業		47.3	41.5	34.5	42.4	46.3
非製造業		51.4	47.9	39.6	58.3	50.0
<b>雇用関連</b>		<b>53.9</b>	<b>52.6</b>	<b>36.1</b>	<b>46.1</b>	<b>45.0</b>

表1-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年 6月	1.8%	21.6%	42.8%	29.1%	4.7%
平成24年 9月	0.7%	16.9%	43.7%	28.5%	10.2%
平成24年12月	0.4%	10.8%	42.2%	34.3%	12.3%
平成25年 3月	1.5%	24.3%	48.9%	19.0%	6.3%
平成25年 6月	0.3%	26.6%	49.7%	18.2%	5.2%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



## (2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは52.9となった。前回調査より2.0ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

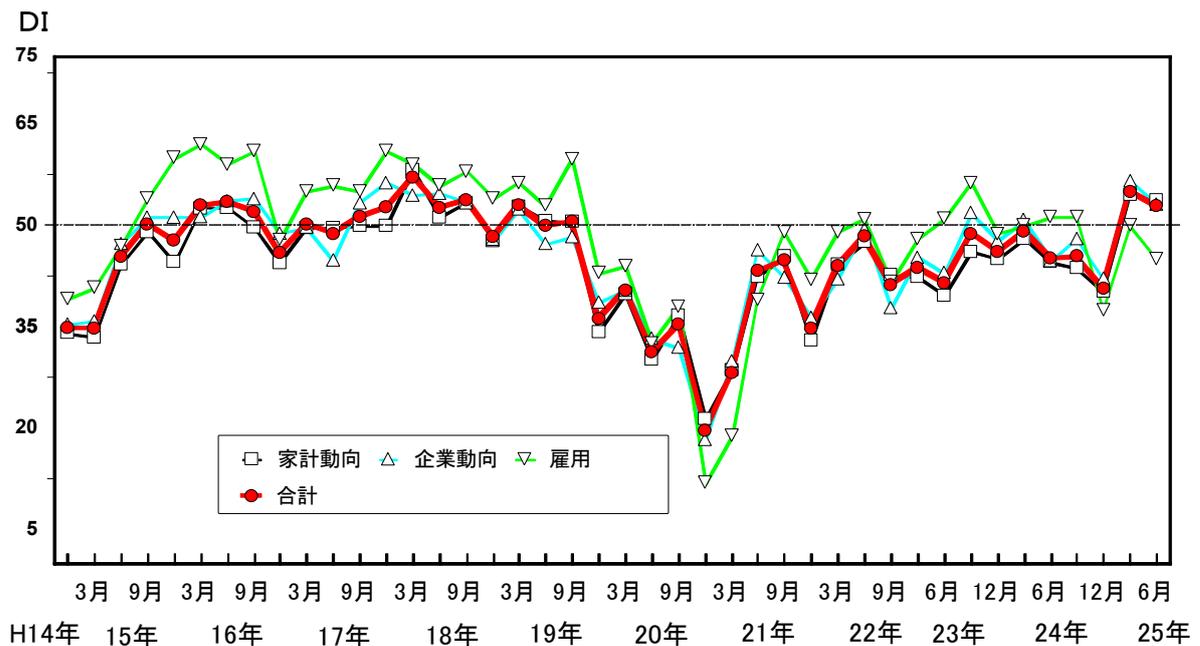
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成24年	平成24年	平成24年	平成25年	平成25年
		6月	9月	12月	3月	6月
<b>合計</b>		<b>45.1</b>	<b>45.5</b>	<b>40.7</b>	<b>54.9</b>	<b>52.9</b>
<b>家計動向関連</b>		<b>44.6</b>	<b>43.7</b>	<b>40.3</b>	<b>54.5</b>	<b>53.7</b>
小売関連		44.4	44.2	42.3	50.8	52.4
飲食関連		48.6	48.8	35.7	54.8	52.4
サービス関連		44.1	41.7	38.9	55.6	53.4
住宅関連		41.7	44.4	47.2	72.2	69.4
<b>企業動向関連</b>		<b>44.7</b>	<b>48.0</b>	<b>42.2</b>	<b>56.6</b>	<b>53.1</b>
農林水産業		53.1	46.9	50.0	40.6	53.6
製造業		42.4	43.8	39.3	54.1	50.5
非製造業		45.7	53.6	43.8	63.2	56.3
<b>雇用関連</b>		<b>51.3</b>	<b>51.3</b>	<b>37.5</b>	<b>50.0</b>	<b>45.0</b>

表1-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年 6月	0.4%	15.5%	52.2%	28.1%	4.0%
平成24年 9月	1.4%	15.1%	55.3%	20.4%	7.7%
平成24年 12月	0.4%	9.0%	54.2%	26.0%	10.5%
平成25年 3月	3.0%	35.8%	41.8%	16.4%	3.0%
平成25年 6月	1.4%	28.3%	53.1%	14.7%	2.4%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



## 2 地域別の動向

### (1)景気の現状判断DI

#### ① 県北地域

景気の現状判断DIは42.1となった。前回調査より2.4ポイント低下し、横ばいを表す50を7期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成24年 6月	平成24年 9月	平成24年 12月	平成25年 3月	平成25年 6月
合計		42.4	38.6	33.9	44.5	42.1
家計動向関連		39.2	33.8	32.4	45.7	43.4
企業動向関連		46.1	44.7	35.5	43.1	42.1
雇用関連		58.3	58.3	41.7	41.7	31.3

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年 6月	0.0%	20.3%	33.9%	40.7%	5.1%
平成24年 9月	0.0%	13.6%	40.7%	32.2%	13.6%
平成24年 12月	0.0%	12.5%	32.1%	33.9%	21.4%
平成25年 3月	4.0%	18.0%	42.0%	24.0%	12.0%
平成25年 6月	0.0%	15.8%	50.9%	19.3%	14.0%

#### ② 県央地域

景気の現状判断DIは50.4となった。前回調査より0.1ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成24年 6月	平成24年 9月	平成24年 12月	平成25年 3月	平成25年 6月
合計		44.5	47.2	38.9	50.5	50.4
家計動向関連		43.6	48.6	40.4	52.2	51.4
企業動向関連		47.1	43.3	35.3	47.1	48.5
雇用関連		41.7	50.0	41.7	50.0	50.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年 6月	0.0%	23.6%	40.0%	27.3%	9.1%
平成24年 9月	1.9%	15.1%	54.7%	26.4%	1.9%
平成24年 12月	0.0%	11.1%	42.6%	37.0%	9.3%
平成25年 3月	0.0%	33.3%	42.6%	16.7%	7.4%
平成25年 6月	0.0%	31.0%	41.4%	25.9%	1.7%

### ③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは52.2となった。前回調査より4.9ポイント上昇し、横ばいを表す50を22期ぶりに上回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成24年	平成24年	平成24年	平成25年	平成25年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		49.1	42.8	39.7	47.3	52.2
家計動向関連		52.7	42.8	36.5	45.8	53.4
企業動向関連		42.2	39.1	51.8	48.3	46.9
雇用関連		45.0	55.0	30.0	55.0	60.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年 6月	1.7%	22.4%	50.0%	22.4%	3.4%
平成24年 9月	0.0%	22.0%	40.7%	23.7%	13.6%
平成24年12月	0.0%	12.5%	41.1%	39.3%	7.1%
平成25年 3月	0.0%	17.9%	57.1%	21.4%	3.6%
平成25年 6月	0.0%	31.0%	48.3%	19.0%	1.7%

### ④ 県南地域

景気の現状判断DIは50.5となった。前回調査より5.6ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成24年	平成24年	平成24年	平成25年	平成25年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		54.4	47.3	41.0	56.1	50.5
家計動向関連		48.3	43.2	44.5	57.3	52.2
企業動向関連		61.8	51.4	37.5	58.3	48.6
雇用関連		68.8	62.5	25.0	37.5	41.7

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年 6月	3.9%	27.5%	51.0%	17.6%	0.0%
平成24年 9月	0.0%	25.5%	43.6%	25.5%	5.5%
平成24年12月	0.0%	7.5%	56.6%	28.3%	7.5%
平成25年 3月	3.8%	32.1%	49.1%	15.1%	0.0%
平成25年 6月	0.0%	23.6%	58.2%	14.5%	3.6%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは53.0となった。前回調査より7.1ポイント上昇し、横ばいを表す50を23期ぶりに上回った。

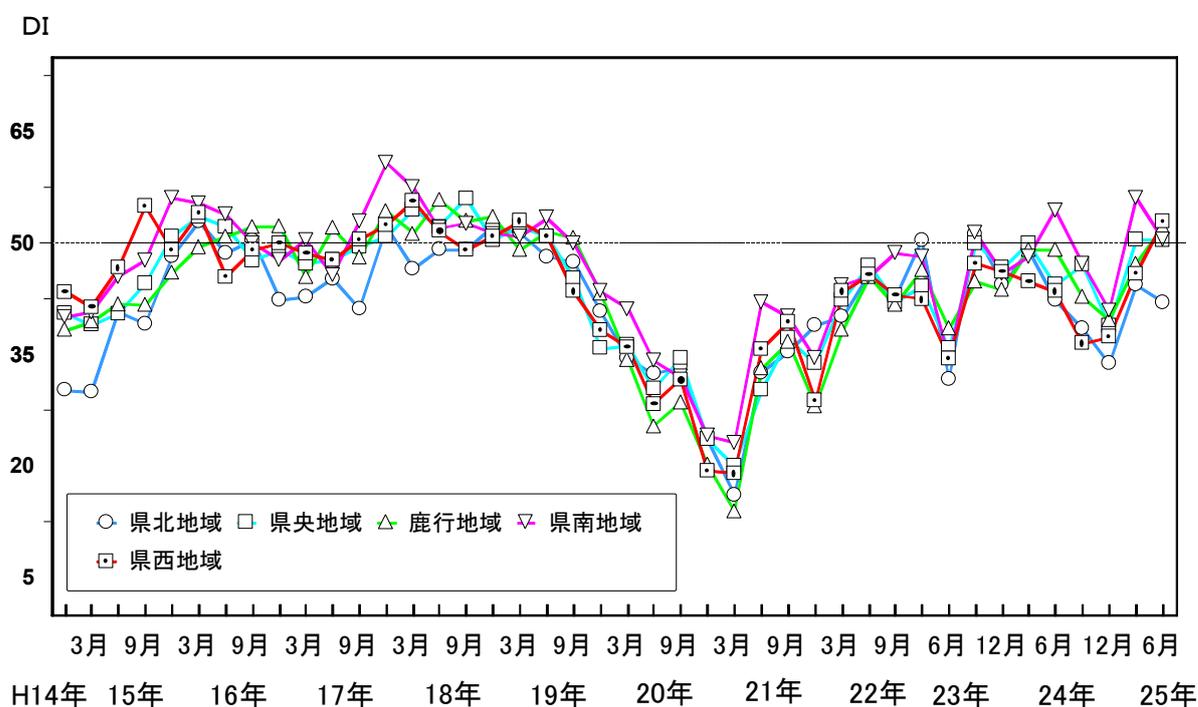
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成24年 6月	平成24年 9月	平成24年 12月	平成25年 3月	平成25年 6月
合計		43.6	36.6	37.5	45.9	53.0
家計動向関連		40.3	35.7	38.9	46.1	54.4
企業動向関連		46.3	38.2	33.3	46.1	53.8
雇用関連		56.3	37.5	43.8	43.8	37.5

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年 6月	3.6%	14.5%	40.0%	36.4%	5.5%
平成24年 9月	1.7%	8.6%	39.7%	34.5%	15.5%
平成24年 12月	1.7%	10.3%	39.7%	32.8%	15.5%
平成25年 3月	0.0%	20.0%	52.7%	18.2%	9.1%
平成25年 6月	1.7%	31.0%	50.0%	12.1%	5.2%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



## (2)景気の先行き判断DI

### ① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは54.4となった。前回調査より2.4ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成24年	平成24年	平成24年	平成25年	平成25年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		42.8	46.6	38.8	52.0	54.4
家計動向関連		41.9	47.3	39.0	51.7	55.1
企業動向関連		43.4	43.4	40.8	52.8	59.2
雇用関連		50.0	58.3	25.0	50.0	25.0

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年 6月	0.0%	15.3%	47.5%	30.5%	6.8%
平成24年 9月	5.1%	11.9%	55.9%	18.6%	8.5%
平成24年 12月	0.0%	7.1%	57.1%	19.6%	16.1%
平成25年 3月	4.0%	34.0%	32.0%	26.0%	4.0%
平成25年 6月	0.0%	36.8%	49.1%	8.8%	5.3%

### ② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは53.9となった。前回調査より4.9ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成24年	平成24年	平成24年	平成25年	平成25年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		45.9	47.2	41.2	58.8	53.9
家計動向関連		45.0	45.7	40.4	58.1	54.7
企業動向関連		48.5	51.7	45.6	63.2	51.5
雇用関連		41.7	41.7	25.0	41.7	56.3

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年 6月	0.0%	14.5%	58.2%	23.6%	3.6%
平成24年 9月	1.9%	20.8%	47.2%	24.5%	5.7%
平成24年 12月	0.0%	11.1%	48.1%	35.2%	5.6%
平成25年 3月	5.6%	42.6%	33.3%	18.5%	0.0%
平成25年 6月	3.4%	27.6%	51.7%	15.5%	1.7%

③ 鹿行地域

3 か月先の景気の先行き判断D Iは 51.3 となった。前回調査より 0.9 ポイント低下したものの、横ばいを表す 50 を 2 期連続で上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成24年	平成24年	平成24年	平成25年	平成25年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		48.7	47.5	39.7	52.2	51.3
	家計動向関連	51.4	45.4	37.8	50.7	53.4
	企業動向関連	42.2	50.0	42.9	53.3	46.9
	雇用関連	50.0	55.0	45.0	60.0	50.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年 6月	1.7%	17.2%	58.6%	19.0%	3.4%
平成24年 9月	0.0%	13.6%	71.2%	6.8%	8.5%
平成24年 12月	0.0%	5.4%	57.1%	28.6%	8.9%
平成25年 3月	0.0%	30.4%	53.6%	10.7%	5.4%
平成25年 6月	0.0%	24.1%	58.6%	15.5%	1.7%

④ 県南地域

3 か月先の景気の先行き判断D Iは 53.2 となった。前回調査より 5.8 ポイント低下したものの、横ばいを表す 50 を 2 期連続で上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成24年	平成24年	平成24年	平成25年	平成25年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		47.1	49.1	43.9	59.0	53.2
	家計動向関連	48.3	44.7	44.5	60.5	52.2
	企業動向関連	42.6	54.2	44.4	58.3	56.9
	雇用関連	56.3	62.5	33.3	50.0	41.7

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年 6月	0.0%	13.7%	60.8%	25.5%	0.0%
平成24年 9月	0.0%	21.8%	56.4%	18.2%	3.6%
平成24年 12月	0.0%	7.5%	67.9%	17.0%	7.5%
平成25年 3月	3.8%	43.4%	39.6%	11.3%	1.9%
平成25年 6月	1.8%	25.5%	56.4%	16.4%	0.0%

⑤ 県西地域

3 か月先の景気の先行き判断D Iは 51.7 となった。前回調査より 0.6 ポイント低下したものの、横ばいを表す 50 を 2 期連続で上回った。

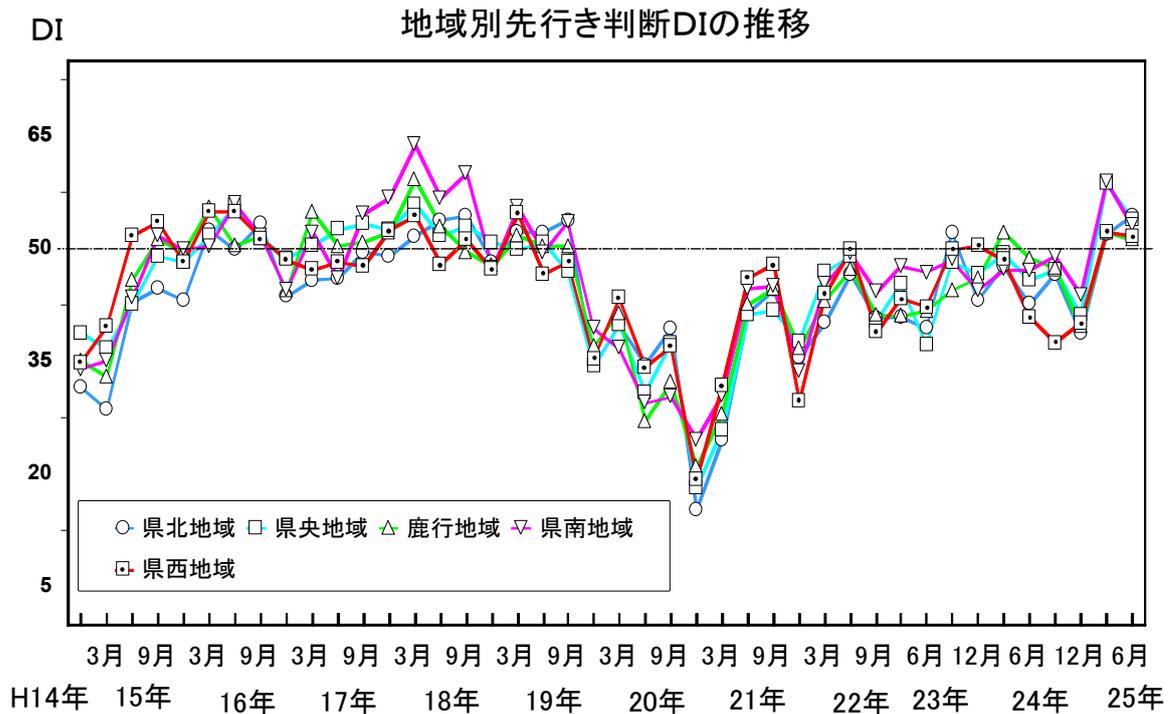
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成24年	平成24年	平成24年	平成25年	平成25年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		40.9	37.5	40.1	52.3	51.7
家計動向関連		35.5	35.0	40.3	51.6	52.9
企業動向関連		46.3	42.1	37.5	55.3	50.0
雇用関連		56.3	37.5	50.0	43.8	50.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年 6月	0.0%	16.4%	36.4%	41.8%	5.5%
平成24年 9月	0.0%	8.6%	44.8%	34.5%	12.1%
平成24年 12月	1.7%	13.8%	41.4%	29.3%	13.8%
平成25年 3月	1.8%	29.1%	49.1%	16.4%	3.6%
平成25年 6月	1.7%	27.6%	50.0%	17.2%	3.4%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



### 3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	286 人	95.3%
県北地域	60 人	57 人	95.0%
県中央地域	60 人	58 人	96.7%
鹿行地域	60 人	58 人	96.7%
県南地域	60 人	55 人	91.7%
県西地域	60 人	58 人	96.7%

### Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

#### (1) 県北地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	スーパー	客単価の増加が見られる。品質・味が評価されれば購入していただける環境が見られる。
		コンビニエンスストア	リストラなどが終了し企業の業績が改善していると思われる。
		自動車販売店	最近、取引先の業者や、お客様で、建設、建築などのお仕事をされている方は、とても忙しくしていると言っている。高額車への代替も増えている。
		小売業（水産物）	若干ではあるが客数が増加した。
		スナック	お客様の来店回数が増えつつあるように思う。
		レジャー施設	客単価が上がっております。
		住宅販売会社	増税前の駆け込み需要というほどではないが、徐々に動き出している。
	企業	製造業（電気機械器具）	売上が伸びており、利益率も増加している。
		建設業	見積依頼は多い状況が続いている。人手不足も深刻な状態である。一部の材料も高騰している。
	変わらない	家計	スーパー
スーパー			毎日の客数、客単価が去年の今頃、3か月前と比べて変わらない。
衣料品販売店			依然として、お客様の財布の紐は固く、我々の業種にはお金を使わない。
小売業（工具）			企業の設備投資意欲には現在のところ結びついていないと思われる。近い将来には期待している。
小売業（弁当・惣菜店）			景気に対する話題は多くなったが、いずれも実感できるものではない。
農産物直売所			消費する場所（店）が大きく変わったように思われる（大型商業施設等）。
小売業（燃料）			販売量（ガソリン）は3か月前からほぼ前年並みである。
小売業（酒類）			悪くはなっていないが、売り上げ増にはほど遠い感じです。電気料金等物価値上がりの影響もある。アルコール飲料の販売は良くない。
小売業（時計）			売上げは変わらないが、ムード的に何となく株の話などを行っている。職業上毎日一定の売上げではなく、大きな差の有る売上げとなっている。
観光型ホテル			宿泊・日帰り予約共、前年同期とほぼ同じ状況で、変化は見られない。よって景気は変わらないと判断する。
タクシー運転手			株価も上昇傾向にあり、都市部では新聞、メディア等で高価な物品が売れ始めているとの報道もありますが、地方の末端まで景気が良くなっている実感は営業面等から見てもまだ感じられないのが現状です。
タクシー運転手			今のところタクシー利用を左右する地元大手企業関連の動きが鈍い。同グループは今、工場等の新築ラッシュ中だが、まだ利用増までには結びついていない。
ドライブイン			去年の入込客数よりも上回っているが、風評買い控えが続いている。
ボウリング場			1ゲームの料金を気にしながら投げる人が多い（安い料金帯に來客する）。
ゴルフ場		お客様のレポート回数が減っている。お客様の選択肢が広がり、より他コースへ流れていることも考えられるが、利用回数が減っていることも要因にあると思われる。	
理・美容店		売上げは良くなっているが、来店の時期をずらして来ているだけ。	
企業		林業関係者	材価低迷ではあるが流通はしている。梅雨に入ると虫害等も注意しなければならない。
	水産業関係者	地元の流れは変化していない。	
	製造業（一般機械器具）	受注量、出荷量が横ばいで推移している。	
	製造業（電気機械器具）	作業量に特質した変化がみられない。	
	製造業（電気機械器具）	3か月前と比較し、特に変化がみられない。	
	製造業（電気機械器具）	4月は良くなった気がしたが、5月はまた悪くなってしまった。6月も全体としては、それほど良くないので横ばいの状況である。	
	製造業（電気機械器具）	新年度になっても、売上げに変動が無い。	
	製造業（輸送用機械器具）	国内は軽自動車を中心に回復基調（4月8か月ぶりに前年比プラス）であるが、依然計画割れの状態である。米国は依然好調。中国も回復傾向にあるも日本車は苦戦。欧州は依然厳しい状況に変化なし。為替が円安傾向にあるが、現地生産の動きは変わらず総じて厳しい環境が継続している。	
	情報通信業（情報サービス業）	先行きが不透明な為、設備投資には慎重なのか、商談は相変わらず少ない。	

変わらない	企業	金融業	個人消費においては、高額商品やレジャー資金の動きが出てきている。また、住宅関連の相談も増加傾向にあり個人消費は改善が見られる。一方、中小企業においては、未だ設備投資に対する取り組みがみられない。
		不動産業	受注売上額とも、目に見えるような好状況には転じていない。
		サービス業（広告業）	受注が増えていない。
やや悪くなっている	家計	レストラン	売上がそう上がらないと、人の流れが静かである。
		中国料理	3か月前と比較すると、今月は主食のみのご注文が多いです。一品料理や餃子など一緒に注文するお客様が少なくなっています。また、遅い時間より早い時間帯のお客様が多い事から、全体的に外出するのが減っている様に感じるため、景気はやや悪くなっていると思います。
		タクシー運転手	夜の需要が減っているように思われる。
		ゴルフ場	中小企業の社長数名と話をすると今年度の方が業績が悪いと答える人が増えている様な気がする。
		ゴルフ場	4～6月の各月1日時点の来場予約数の流れは、昨年実績に比較して+5ポイント、今年1～3月の計画比較で-17ポイント、特に6月の出足がやや鈍り出して来た。4～6月プレー意欲を示す総来場者数は順調に推移している。依然として料金マインドは低料金傾向にある。
		クリーニング店	客単価が減少している（3月は暖かかったが4～5月と寒い日が多く、5月は土、日と雨の日が続いたためか？）。
		企業	製造業（精密機器）
製造業（電気機械器具）	受注の減少がみられる。		
運輸附带サービス業	原材料梱包用補材の出荷が停滞傾向にあり、顧客の製品の動きが鈍い事が明確になっている。		
雇用	公共職業安定所	新規求人は、震災以降の23年4月以降前年同月比が増加傾向に転じ、24年9月まで前年同月比18か月連続での増加となっていたが、24年10月に減少に転じた。また、有効求人倍率は、22年6月以降24年10月まで29か月連続での増加を続けていたが、11月0.84（24年0.91）と減少に転じ、雇用情勢面では厳しい状況にある。また、4月の新規求人数をみると、対前年同月比-8.6%となり、建設業、製造業、運輸業、卸・小売業などで減少しており厳しい状況となっている。こうした要因のひとつとしては、本年12月～3月にかけて管内主要企業での早期退職・退職支援制度の実施があり、さらに現在追加での早期退職者の希望を募っている。こうしたことも、管内各企業等への影響につながっているものと思われる。	
	学校就業関係者	現在の求人状況及び離職者数が震災直後の状況になっていて、悪化しているとの報告を受け、やや悪くなっていると判断した。また、離職者を対象とした職業訓練の応募状況が定員超えをしている。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	消費者の購買意欲の低下がみられる。アベノミクス効果が不明である。高齢者の年金の実質収入の減額等、マスコミの無責任な報道にも問題があると思う。
		商店街代表者	年度末の仕事が終了し仕事が無くなってしまったが、年度末集中が今年は例年になくひどかった。
		コンビニエンスストア	地元大手企業の関連企業リストラがあり、客数にもかなり影響している。セールなどの動向も鈍い。
		居酒屋	来店客が少ない。
		観光型ホテル	お客様の動きがみられません。また株価も期待できません。
企業	企業	製造業（製缶）	受注が減っている。
		製造業（電気機械器具）	部署によって業務量の偏りがある。原子力関連の部署は業務量が少なく、一般産業向け、特にスマートフォン関連、自動車関連、鉄道関連がやや多めである。平均すれば少ない。
		運輸業	円安による燃料費の高騰、輸入貨物の減少等がみられる。

## (2) 県央地域 【現状】

(一：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	—	—	—	
やや良くなっている	家計	百貨店, 総合スーパー	都心ほどではないが、高額品購入のお客様の姿が見える。アベノミクス効果といえるのか今後も期待している反面、通常商品に対してよく考えてご購入されるお客様も増加してきている。	
		スーパー	景況感は、少しずつ良くなってきていると感じます。外食、観光など人も少しずつ足を運んでいる様に思います。	
		スーパー	売上が前年比102%と向上してきている。また一人あたりの客単価も上がっている。	
		農産物直売所	昨年まで荷動きの思わしくなかった和牛やメロンギフトの販売が好調。	
		レストラン	水戸市内に新規オープンした施設の影響はあるが、お客様の動向が活性化していることもあり、景気はやや良くなっていると思われます。	
		割烹料理店	3か月前というと新年会も落ち着き、歓送迎会まではまだ早い時期だったので少し店自体も落ち着いている時期でした。今は、農家のお客さんが動く時期に入ってきたので、3か月前よりは多少売り上げ自体も上がっています。	
		タクシー会社	報道機関からの情報では、アベノミクスで景気上昇の気運が高まっているが、大都市圏の話であり、一部の輸出関連企業の業績が回復上昇しているのでは、株価上昇の要因も大きいと思うが、一般の企業や個人まで景気上昇の恩恵があるとは思えない。しかし、テレビや新聞などの報道が毎日のように目と耳から入ってくるので、景気は良いのかと思うことがあるが実感はない。	
		観光名所	昨年同時期よりも予約状況が堅調である。電話などでの問い合わせも増加している。	
		ゴルフ場	雨が少なく好天に恵まれている。また、トーナメント開催の効果が出はじめており、予約申し込みが増加傾向を示している。	
		理・美容店	卒業入学の時期なので、毎年の事ながら少し忙しい。	
		建築設計事務所	忙しいムードが業界全体に感じられる。	
		住宅販売会社	駆け込みでの購入が増えていることを景気回復と言って良いのかどうか疑問だが、消費が動いていることは確か。	
	企業	製造業（印刷・同関連業）	工場が忙しそうなお様子だ。	
		製造業（窯業・土石製品）	3か月前と比較すると、短期的では受注量が増加している。	
		製造業（金属製品）	仕事量は確実に増えつつあり、単価面でも少しずつではあるが改善されつつある。また客先が我々加工業者を早くおさえるために、かなり早いタイミングで発注するケースが目立つ。	
		サービス業（コンサルタント業）	仕事先の小売店や飲食店の前年同月比を比較すると、3か月前と同じかやや良くなっている店舗が多い。依然として客単価は下げ止まっているものの、週末に好天が続いた影響もあって前年と比較して客数の伸びが見られた。	
		サービス業（広告業）	業界によつてのばらつきはあるが、少しずつ受注が増えてきている。	
	雇用	学校就業関係者	昨年同時期より、学生の就職内定状況が若干良くなっている。	
	変わらない	家計	商店街代表者	景気の上向き感もちょっと足踏みといった感じ。悪くはなっていないが、良くもならず大きな変化はみられない。
			百貨店, 総合スーパー	今月は、3か月前と比較すると売上は減少傾向であるが、それは季節的な要因であり、客単価に大きな変化が見られないため、景気も変わらないと判断した。
スーパー			4月には株高を受けて高額商品が一部動いていたが、ここの所落ち着いている。	
コンビニエンスストア			政府による景気回復政策にもかかわらず、売上、買上点数、客単価の改善は起こっていない。	
自動車販売店			コンパクトカーへの乗換需要は増々多くなっていますが、逆に長くお車を使用する方も多くなって代替年数も伸びてきています。特に若い方の車離れも目立ち市場の伸びは変わらないようです。	
スーパー			売上高がなかなか伸びてこないため、地方での景気は変わってないと思います。	
レストラン			とくに大きな変化は感じられない。	
レストラン			回りの一部では給料が少し上がったとの話を聞くが、利用される方の単価や、回数等は増えていない。予約に関しても同様です。	
都市型ホテル			利用金額も横ばいで、良くなっているとは思えない。	
都市型ホテル			予約状況が変わらず伸びていない。利用内容も良くなっていない。	
観光型ホテル			連休など繁忙日集中型で、通常日の動きが今一つ。所得増が実感できるまで時間がかかると思う。	
タクシー会社			タクシー1台当りの営業回数、売上高に変化が感じられない。	

変 わ ら な い	家計	旅行会社	テレビ、新聞では大企業は春闘もボーナスも一発で回答が出て景気が良くなるようですが、小会社はなかなか良い話は出てこない。売上げも変化なしです。
		ドライブイン	少しずつは震災以降お客様の予約が戻りつつあるとは思われますが、お土産の客単価も落ちているように思います。
		レジャー施設	新規利用者申し込みもなく、又利用廃止もない。
		レジャー施設	天候のため入場者は減少しているが、団体等の予約状況を見ると例年ベースなので、景気については、引き続き回復傾向にあると思われる。
	企業	農業関係者	春の低温、霜害により梨やお茶に一部被害が出たものの、その後の気候は安定し、農作物は順調に生育している。農業資材に関しては、燃料を中心として円安の影響から価格が高騰し経費負担が増加している。
		建設業	多少の波があるが中長期的に変化なし。
		情報通信業（情報サービス業）	決算時期を迎える顧客からは、業績を見たいうえ、投資有無の判断を下すとの話が多い。同業者間においても、業績に大きな差が出ているようだ。市場における景況感は3か月前より確かに良くなっていると感じるが、収益環境を含め取引実態はあまり変化してはいない。
		金融業	3か月前と比べ、当地域の小売業、製造業の業況に変化はみられない。売上高にも変動がみられない。
		不動産業	時期的な問題もあると思いますが契約金の交渉や家賃の交渉など、お客様の節約したい意向が強く見られる。
		サービス業（広告業）	広告宣伝ツールの出稿数は、昨年と変わらず推移。
雇用	人材派遣業	製造業において、生産は依然変わらず。	
	求人開拓員	求職者は、昨年と比較して1割増加。回りの明るい雰囲気から、企業の採用意欲が増えるだろうと期待したが実態はそうでもない。物が動く形での利益（売買利益）ではない為、生産（製造や小売）に必要な人（求人数）は依然として横ばいです。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	今年1月から4月上旬までは、好調に推移していたが、5月以降、来店客数、客単価、販売額が減少している。
		スーパー	お客様数も下降している。客単価も同様。
		コンビニエンスストア	タバコを中心とした嗜好品の販売金額が下がっている。買上点数、単価も下落傾向にあり、余計な物にお金を使っていない。
		専門スーパー	3か月前と比べて、客数、客単価、買上点数共に下降傾向にある。
		旅行代理店	円安により海外旅行の先行受注が不振である。
		タクシー運転手	スナックで働いているホステスさんの話ですが勤務時間が午後8時からでしたが午後9時からになったとか、お客様が来ないと午後の11時頃には帰っていいよと言われるそうです。今後もこの様な状態が続くそうです。
		タクシー運転手	今月は、梅雨の時期にもかかわらず雨が少ない割には売上は横ばいにある。しかし、このところの燃料費の高騰の影響もあり3か月前の前年比と今月の前年比を比べると今月の方が低調なので景気はやや悪くなっている。
		カラオケ店	売上昨年対比より、やや悪くなっていると判断した。
	企業	製造業（食料品）	弊社の売上状況から判断するとやや悪くなっている。特にゴールデンウィークの集客が悪い。
		製造業（食料品）	原発事故の風評被害が根強く残っている。
製造業（印刷・同関連業）		受注量が減少している。	
製造業（一般機械器具）		機械加工を行っている会社は、ほとんどの会社が仕事がない、少ないと言うことです。	
製造業（精密機械器具）		3か月前は、弊社年度決算月の3月であり、お客様も同様な会社が多く、年度予算との関係から、当月受注、当月出荷がありました。その関係から比較するので、この6月はやや悪くなります。	
運輸業（道路貨物運送業）		原材料の高騰や燃料高、競争の激化、各種補助金の打ち切り等により苦戦している様である。	
雇用	公共職業安定所	有効求人倍率は3月と比べ低下しており、これは例年見られる傾向であるが、対前年同月比でみた場合、増加では推移しているものの増加幅は3月に比べ低下している状況である。	
悪	家計	家電販売店	売上が去年の半分位に落ち込み電話の問い合わせも少なくなっている。

## (3) 鹿行地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	－	－	－	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	生産や消費などをみても景気は緩やかに回復していると思います。	
		家電販売店	少しずつではありますが良い品が動き出しています。	
		農産物直売所	客単価及び購入金額が増加している。	
		小売業（酒類）	客単価の微増、買上点数の増加はあるが、各イベントの引き合いで大口の注文等が減少している。データでもお買上げ点数では若干微増、客単価は若干減である。	
		衣料品販売店	客数と客単価が少し良かった。	
		レストラン	宴会の費用が上がりました。以前は宴会、飲み会は男性が多かったのですが、今は女性の飲み会、食事会も多くなっています。女性がお金を使うようにならないと景気は良くならない気がします。	
		タクシー運転手	神栖地区は例年通り5月のコンビナート定期修理時期で人の出入りが活発で、タクシーの利用が多くなった。	
		タクシー運転手	4月のみ営業回数が他月と比べ平均5～6回程増えたが、3、5月に対しては従来どおり動かなかった。	
		ドライブイン	観光客の来場者数が増加している。	
		理・美容店	再来店のサイクルが早くなった。	
		住宅販売会社	消費税アップの事もあり、住宅の具体的計画者が若干ではあるが増えてきたように感じます。	
	企業	農業関係者	メロンの卸値が下がらず、非常に売れ行きも高い。露地物野菜、ハウス野菜ともに生育が良好である。	
		建設業	着工件数が消費税アップの為にかけ込み需要で多くなっている。	
		運輸業（道路貨物運送業）	昨年比で今年度生産量を増やしている荷主様が多い。実際4月中旬から在庫が増えて来ている。ただ、動きはまだ鈍い状況である。	
		保険業	建築、土木の業社が仕事の増加が見られる。	
	雇用	民間職業紹介業	企業からの求人申し込みが多少増えてきている。	
		公共職業安定所	円安傾向の中、輸出関連事業所では追い風だが、一方で輸入原材料の価格上昇が懸念材料となっている。	
	変わらない	家計	小売業（食品）	良くはなっていないと思います。私は製造及び小売業ですが、直売所（道の駅など）は3か月前と変わらないのですが、自宅の小売りは減っています。
			商店街代表者	相変わらず、客数の増加につながる見込みが薄く、企業関係者も良い話は少ない。
スーパー			一人のお客様の買われる点数が伸びていない。金額も少しずつ下がっていて、そのままです。	
コンビニエンスストア			震災からの復興・復旧工事も規模が落ち着いてきたこともあり、本来のお客様の使われ方に戻ってきていますが、やはり生活消費は堅実であり、客単価も伸びない状況である。	
自動車販売店			何も良くなっている感じが見受けられない。	
小売業（薬品店）			アベノミクスによるデフレ、円高脱却効果は、末端の中小・零細企業にとっては実感が無い。特にOTC医薬品に関しては、意味のない規制緩和の影響をものに受けている。	
小売業（書店）			お給料日後（20～25日付近）はお客様の単価が上がる傾向がある（ここ最近の傾向です）。月の中でも一時良く、一時悪いと波がある。平均してしまうと「変わらない」。	
洋食食堂			客数・売上げ等の変化があまりない。	
割烹料理店			前年比からすると、売上げは下がり気味で、震災後の復興費の支払いなどもかさんで、厳しい状況である。	
観光型ホテル			震災の影響により、夏期海水浴等県外からの観光客増が見込めない。	
タクシー運転手			5月前後は定期修理があるので、前回よりは動きがあったが、毎年のことなので変わらないと思う。	
ゴルフ場			6月は前年より入場者は増加傾向にありますが、7月がだいぶ遅れております。	
ゴルフ練習場			今のところ個人がゴルフ練習に使う金額は、そんなに変わらないと思います。何故なら客単価が変わらないです。	
レジャー施設			当施設に来場する来場者数及び使用金額から判断する限りにおいては、変わらないと考える。	
理・美容店			今の景気が変わらない限り、変化がない気がする。	
室内装飾業	一部の業者以外はまだまだ活気が見受けられないし、単価も低価格で受注しているようだ。			

変 わ ら な い	家計	住宅販売会社	土地の動きが止まってしまった。
	企業	製造業（食料品）	マスコミ等の報道ではアベノミクスの効果を取り上げているが地方小規模企業等には何ら効果なし。
		製造業（食料品）	為替円安の影響で海外（東南アジア主体）向け冷凍魚（サバ・イワシ）の引合いが強くなり、その点からすれば景気は上向き傾向のはずであるが原発風評被害関連で禁漁区が設定されていることが魚獲量の抑制要因となっている。
		製造業（金属製品）	めっき業界は自動車部品製造が多く、自動車の売れゆき不振のあおりを受け不景気であり、受注も不安定です。受注待ち下請は、メガ企業の方向づけによって、経営が大きく変化しつつある。
		建設業	3月決算を終え、新年度に入りましたが、景気上昇の感じはしません。新年度の仕事量も、増えていないように思います。
		製造業（鉄鋼業）	一部生産ラインのシフトダウン等が行なわれ、好転の要素が見受けられない。
		金融業	円安による輸入品等の価格上昇の影響で、地元企業の業況はあまり変化がみられない。
	雇用	人材派遣業	景気が良くなっている感触は見あたらない。受注が多いでもなく、客先に聞いてみても需要が多くなっている様な状況でない模様。
		学校就職関係者	通勤に使う車のガソリンも高止まりのままあまり変化がない。
		就職支援センター	企業が前向きな投資により雇用を増やすような話はほとんど聞かれない。建設、介護分野での求人は底堅いが、雇用のミスマッチも相変わらずの状況にある。
や や 悪 く な っ て い る	家計	コンビニエンスストア	客単価が下がり、買い上げ点数も伸び悩んでいる。コンビナート定期修理に伴う、エリアへの人の流入も例年より少なく活気が乏しい。
		小売業（菓子販売店）	昨年12月は対前年比は良かったが、現6月の売上げは昨年と比べ悪い。
		小売業（金物店）	現場の仕事量が減っている。特に建築関係が少なくなっています。また道路工事関係は変わっていません。
		日本料理店	客単価が下がっている。
		観光型ホテル	各団体数は変わらないが、団体単位の宿泊者数が少なくなっている。
		タクシー運転手	今回の調査時は、季節的要因もあって売上げが伸びるはずですが、夜間の乗車率が良くならないのでやや落ち込んでいると思います。
		クリーニング店	衣替えの時期なので量は増えているが、1人の点数は減っている。洗剤も良い物も出ているので家庭で洗っていると思います。
	企業	製造業（食料品）	低価格商品を求める消費者に販売店は値引き価格で対応する為、納品単価は下げられ業績が悪化してしまう。
		製造業（食料品）	ゴールデンウィーク後、来客数が減ってきているが高速道路サービスエリア・イベントショップ向けの商品が、昨年よりも格段に増えていて部門によって製造が間に合わない位で、全体的に見てはややマイナスの様に感じる。
		製造業（化学工業）	原燃料高の影響が大きくなってきている。また、国内外とも需要は平行線で稼働が上がらず、結果として円安のデメリットが大きくなり、業績を圧迫している。
不動産業		お客様の来店客数が少し少ない気がします。コインランドリーを3店舗営業していますが雨が少ない為売上げ減です。また、ガスの値上げがありました。	

## (4) 県南地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	スーパー	2013年5月度と2月度を前年比で比較すると、客数で4.5%アップしている。
		小売業（酒類）	アベノミクスの影響で、先行きが明るくなっているせい、宴会場などのお客様の注文の単価が上がってきている。全体の売上げが伸びている。
		小売業（生花店）	店舗売上げが昨年同期より、数字が多少上向いており、今後の動向に期待している。又、配達の途中で目にする土地（売地）の動きが見えるようになって来た。
		和食食堂	客は平年並も客単価が上がり前年売上げを越えている。気候もあるが、心なしかお客様の様子も明るくなってきている気がします。
		都市型ホテル	宿泊・宴会・レストラン利用等において利用状況は多少延びてきたと思うが、一人あたりの単価が変わらない為、良くなっているとは言えない。
		タクシー運転手	日経平均の上昇により投資家の利益確定売りによる収入や、企業の所有している有価証券の売却益があり決算に好影響。
		ゴルフ場	コンペの組数が予約時より増える事がある。パーティーの内容、単価が若干であるが上がっている。
		ゴルフ場	前3か月と比較して季節的なものを除いても、コンペの占める割合が高くなっている。少人数で来るといふより大人数が集まるのは景気が上向いている為だと思われる。当然活気も感じられる。
		レジャー施設	3か月前と比べ、入場者数は減っているが、1人あたりの購買単価が増えている。
	企業	製造業（飲料）	何となく世の中動いている様な気がする。
		製造業（非鉄金属）	大手自動車メーカーからの発注量について7、8月の一部前倒し受注を予定しており、生産は比較的高水準にある。一方では、アルミ材・電気・ガスなど値上がりしていることと、4月以降のコスト引き下げ要請もあって価格転嫁はできにくい状況から、収益面は厳しくなってきた。
		運輸業（倉庫業）	各荷主とも、出荷、入庫がやや好調の兆しが出ています。生産増加により。しかしながら、物流においては利益水準が低い状態はこれからも続くと思われる。
		サービス業（広告業）	受注が増えてきた。
変わらない	家計	小売業（酒類）	お客様の数が変わらないし、客単価も同じようである。
		スーパー	テレビ、新聞等の報道で景気が上昇傾向との事ですが、買上げ点数、客単価を3か月前と比較して変化がない。
		スーパー	売上の前年割れの状況が続いている。
		スーパー	変わらず、低単価志向である。
		コンビニエンスストア	天候や気温による客数、売上の変動は日毎、週間で確認できます。しかし、その他の要因での変化は確認できていません。以前と同様の推移です。
		コンビニエンスストア	お客様の買われ方、単価、買上点数等に大きな変化は確認出来ていない。
		家電販売店	店舗販売数量に変化なし。
		専門スーパー	売上は3か月前と変わらない。
		ガソリンスタンド	来店台数、客単価ともに大きな変化がみられない。
		洋食食堂	所得が増加し安心して消費するには、まだまだ時間が必要に感じられる。
		洋食食堂	予約状況が大きく変わらない。
		寿司店	お客様の来店数もほとんど変化がありません。特定のお客様が毎日の様にビールを飲みに来てくれます。新しいお客様の来店が欲しいです。
		都市型ホテル	宿泊では、団体需要及び個人についても特に大きな伸びもみせず変わらなかった。レストランも周辺店舗数も増加していることもあり微減、接待会食も個室利用など減少が見られた。宴会では、人数の多い宴会が（大規模な宴会）が増加していた。婚礼は、単価減少が見られた。総合的にみて、景気はあまり変わらないと思われた。
		タクシー運転手	TX駅のタクシー利用のお客様が以前とくらべてかなり減っている。
		旅行代理店	シーズンによって増減はあるものの相変わらず旅行商品に対しては、価格面ではかなり厳しいと感じる。
		タクシー運転手	世間ではアベノミクス効果で景気が上向きとされていますが、私たちの業界ではまだまだ効果が出ていません。
		タクシー運転手	3か月前とはほとんど変わらないと思います。
タクシー運転手	営業収入が変わらない。		

変 わ ら な い	家計	パチンコ店	5月当初の連休から明けて、客足が悪くなる見込みの所が意外にも悪くなかったところが「変わらない」と判断した理由になります。しかし客足が良くもなく、3か月前との比較では変わらないと判断を致しました。	
		建築設計事務所	ここ一年間も3か月前も同じ状況。	
		住宅販売会社	3か月前同様、土地分譲の売れ行きが好調。	
	企業	農業関係者	円安が進み肥料等生産資材の値上げ等がある。また金利の上昇で貸出金伸張にも影響がある。	
		製造業（家具・装備品）	売上げが固定したのでしょうか、あまり変わりません、でも少しは明るさも見えてきたようです。あまり今の政治に期待しないで、堅実に前向きに。毎日が変化が大きくて、生きにくい時代です。	
		製造業（食料品）	来店客数や売上からすると景気は変わっていない。	
		製造業（窯業・土石製品）	改めて景気とは、なにかと考えた場合、今回は直感で答えるのは難しい。一部の企業、個人は良くなっていると思うが、大部分の方は気分はともかく実態で感じられないのではないかな。	
		製造業（一般機械器具）	特徴的な動きがない。	
		建設業	工事請負数の増加はまだ見られない。職人（関係業者）たちもまた今までと変わらない動きである。	
		金融業	売上高は、横ばいである先が殆どである。タクシー業界でも売上に変化はない。景気が良くなったとの実感が無い。	
不動産業	消費税アップ前の駆け込み需要はみられるものの県南の支店全体でみると横ばいだと思う。ムードが先行してはいるが、実体経済はほとんど変わらない。建物のニーズに関してはやや需要は増えている。			
雇用	人材派遣業	受注数や人の流れの動向による。		
	求人開拓員	3か月前と変わらない。当地区は相変わらず、補充の1名の社員募集が多く、社員を増やそうとは感じられない。別の地域も、パート5名等と常時同じ求人が出ていて変わらない。		
や や 悪 く な っ て い る	家計	ボウリング場	電気料金・ガス・ガソリンのこれらの値上げが予告されているからか、使い控えを感じる。	
		理・美容店	3月頃の人の動く時期にくらべれば、ゴールデンウィークも間に入っているし、今は悪くても当然だが、お客様の声でいうと、民間にしろ公務員にしろ給料が下がっているとよく聞くので、やはり悪くなっていると思われる。	
	企業	製造業（食料品）	売上はあまり変わらないのに円安の影響でガソリン、電気料、プラスチック関連の原材料が値上がりしている。	
		製造業（印刷業）	3月の来客数よりかなり少なくなっている。	
		建設業	日曜日、祝日以外には、毎日経営者として6人程お会いしていますが、どなたも、最近めっきり仕事がなくなっているとこぼしています。年度切替もあるし、例年通りだ…とも言っています。塗装業、鉄骨業、内装業、ゼネコンの中小4社、ガードマン、看板、設計事務所、税理士、司法書士なども顧問先では、大変暇な業者が多くなっていると聞きました。6月以降、公営事業の早期発注を望んでいる傾向が多い、6月中旬以後期待していると。	
		建設業	3か月前は年度末なので、工事売上げが多いのは当然なのだが、それを差し引いても、極端に売上げが落ち込んでいる。例年なら年度始めに売上げが落ち込んでも今頃になれば徐々に増えてくるのだが、今年は一向に増えていない。	
	建設業（設備工事業）	新年度に入り、発注件数が減少しているが、例年良く見られる事ですが、その期間が長い。		
	雇用	学校就職関係者	専門学校へ進学する人が減っているため空きを利用して安く委託訓練を入札し賄っている状況と伺っている。高校では大学進学が就職かの二極化が進んでいるようで、専門への進学者は減っている模様。	
	悪	家計	農産物直売所	お客の数が減った。客単価が低い(3月、4月、5月前年対比97%)。
			タクシー会社	電話での発注が主な事業なのですが、電話のコールが非常に少なくなっている。

(5) 県西地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	コンビニエンスストア	各店ともに客単価、買上点数が向上している。景気についても上向きな話が多く消費意欲の高まりを感じることができています。
やや良くなっている	家計	衣料品販売店	春からずっと昨年対比割り込んでいたが、5月後半よりやっと昨年比をクリアできてきた。
		農産物直売所	政治情勢も以前より安定してきている為か、やや良くなっているように感じる。品質の良い商品であればある程度価格が高くて購入していただけるようになってきている。
		専門スーパー	店への来客数が増えている。
		和食食堂	御来客数、売り上げが微増しています。
		旅行代理店	お客様が少しずつ増えてきているように思います。しかし、団体様も個人客も、旅行に行かれる人数は、いまいちです。かつての旅行ブームが訪れますように祈っています。
		タクシー運転手	近くの工業団地がありますが、だいぶタクシーの仕事が増えて来たように感じます。
		ドライブイン	平日の団体のバス旅行のお客様が増えた。
		ゴルフ場	予約状況から、景気はやや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	会員権販売が好調である。全体的に天候が良い(対前年)。
		理・美容店	来店サイクルが良くなった。会社も忙しくなったと話す人が多くなった。
		理・美容店	アベノミクスの影響か、5月、今月と今年に入ってから一番忙しい。景気が少し良くなったのか。
		建築設計事務所	金融機関と設備融資の話が順調に進んでいる。旅行に行ったなど実際にお金を使った話が世間話に混ざるようになった。
		良	企業
製造業(化学工業)	円安の好影響、及び一部半導体部材メーカーでの需要回復がみられる。		
製造業(窯業・土石製品)	受注が増えている。		
製造業(窯業・土石製品)	当社は現時点では受注量も多く、忙しい状況ですが、欲を言えば納期の忙しさではなく、もっとたくさんの方の量、先が見える受注量、受注残が欲しいことが現在の思いです。		
不動産業	事業用不動産の動きが活発になってきている。		
製造業(印刷・同関連業)	一部の会社は円安で助かっている所があります。印刷業は6月から紙が値上げになりますので、ますます利益率が下がります。		
変わらない	家計	商店街代表者	“アベノミクス”という言葉に踊らされているようだ。年度末よりは少し悪い気がする。
		商店街代表者	レジ前に並べてあるついで買い品(100円~300円)も以前のようにお客様が手を出さない。
		スーパー	客数、販売状況に大きな変化はない。
		コンビニエンスストア	3か月前と比較して客数・客単価・買上点数に大きな変化が見られない状況です。工事関係者などの来店数にも変化は感じられない状況です。
		家電販売店	依然、必要なものの購入が大半である。
		ラーメン店	3月4月はやや売上げ上がったが5月は下がったので変わらない。
		都市型ホテル	企業様の宴会が主のためか、特に客単価等に変化は見られない。間もなく、ピアガーデンがスタートするので、そこに期待したい。
		ビジネスホテル	特に大きな変化は見られない。良くなっているというより横ばい状態というところで悪くなっているわけでもない。
		タクシー会社	現状、売上げが伸びてはいない、中小企業への受注、そして収益が上がっていないので、昼の営業(訪問)、夜の営業(接待)が増えない。また、給与に繁栄は見られず。お金が外に流れない。
		タクシー運転手	駅等タクシー乗り場での待時間及び配車回数でも変わらない。売上は伸びていない。特に土曜日・日曜日・祝祭日の利用客が激減している。
		日本料理店	首都圏では業種により好調や上向き傾向にあるようだが地方ではまったく感じられない。経費を削減してやり繰りしている状態です。
		レジャー施設	お客様との会話の中で決していい話は聞かない。
		住宅販売会社	円安・株高も一段落し、アベノミクス効果も最初の勢いが感じられなくなった。
企業	農業関係者	燃料の高騰や資材等の値上げで農家の収入は変わらないが、支出が増えてきている。直売所の客単価も変わらない。	

変わらない	企業	製造業（食料品）	食品業界の特性として、社会全体の景気が上がってから遅れて上向いてくるが、少し前までは少し明るい兆しが見えてきた様な話が聞こえてきたが、最近は結局ほとんど変わっていないとの声しか聞こえてこない。
		製造業（印刷・同関連業）	アベノミクスや日銀の黒田総裁の積極的な金融緩和・財政出動等の発言で、株価は上昇し、円安で輸出産業は3月期好決算を発表と一流企業は、恩恵を受けているが、地方の企業、又零細企業は、逆に材料が値上がりし、採算を圧迫している。気持の上ではやや悪くなっているにしたいところ――。
		製造業（印刷・同関連業）	経済指標等で、景気の回復を示しているが、自社お客様も含めてそのような感じはない。電気料金、ガソリン、材料費（紙）の値上り等で経営は圧迫されつつある。
		製造業（金属製品）	大手企業感では回復の兆し…との報道もあるが、地方の中小企業にはまったくその実感は無い。
		製造業（電気機械器具）	作業量減少による人員・勤務体制見直しを継続中である。
		電気工事業	世間ではアベノミクス効果で、景気も上向いているといった様子をテレビ等で見ると、我々中小企業ではまだまだ何も変わらない。
		金融業	運送業者などは、円安の影響により燃料費が上がっているため厳しい状況である。
		サービス業（コンサルタント業）	変わったようには感じられない。
		サービス業（広告業）	受注が増えていない。
		雇用	公共職業安定所
学校就職関係者	建築関係や一部の製造業では改善の兆しも見られるが、多くの企業は横ばいか下降と見受けられる。		
求人开拓員	求人件数はあまり変化していない。		
やや悪くなっている	家計	時計販売店	株価が急激に下がって、お客様の消費者心理にもマイナスの影響を与えていると感じます。売上がなかなか上がりません。
		和食レストラン	円安により食材の高騰を受け、より一層利益は出にくくなっています。大型連休明けの6月は例年来客数は少ない傾向にありますが、前年に比べても減少気味で厳しい状況です。
		ドライブイン	客単価・客数とも伸びておらず、景気の改善は見受けられない。アベノミクス効果は感じられない。
		ゲームセンター	前年売上を下回る状況が続いており、特に5月の落ち込みは激しかった。
	企業	農業関係者	青果物の価格が異常に低迷している。
		製造業（一般機械器具）	アベノミクスで良くなる話だが全体に仕事が減っている。
悪くなっている	家計	和食食堂	予約状況を見ても例年より低調で3か月前と比べても悪くなっている。
		クリーニング店	テレビでは株が上昇していると報道して良くなって来ていると言われてますが、お客からは良い話はありません。
	企業	人材派遣業	仕事の量が少なくなった。

### Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

#### (1) 県北地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	商店街代表者	良くなっていると期待したい。只将来の消費税アップに冷水を浴びせられて、消費減退があるのではと心配する。
		商店街代表者	契約物件や見積り依頼が増えてきている。
		スーパー	祝い事等、価格帯は20%程度上がっている。
		小売業（工具）	円安になっているし、株高になっているため、近い将来輸出関連企業は実質的に上向くと思われるし、国内向け産業も円安のため輸入品が値上りするので、競争力がついて良くなるであろう。
		小売業（弁当・惣菜店）	景気の良い実感はないものの、良くなりそうだとの期待は高い。
		小売業（時計）	円、株等の乱高下がありながら上って行くと思われる。持っている（今まで使っていなかった）お金を使って来るものと思う。中小企業のアップはまだまだですが、新聞等に出ている高額品ではないが少し高い商品の注文が、ポツリポツリ有る様になって来た。
		中国料理	そろそろボーナスの時期ですが、上がる所と下がるらしい所と、かなり差があるようなお話を聞きます。アベノミックスの話も出てきますが、みなさん「この辺の景気が変わるのも、2～3年後だ」とおっしゃる方が多いです。しかし中小企業のなかでも、残業がやっとならなくなったとの声も多いので、期待して良くなっていると思います。
		タクシー運転手	景気回復の兆しは地方では実感としてあまり感じられませんが、期待を含めて回答させて頂きました。
		タクシー運転手	地元大手企業の工場群の設備投資が少し先にはほぼ完了し、関係筋のお客さんの利用増が望める。
		ボウリング場	地元大手企業関係のお客様に聞いたところ、やや良くなっていくと思う。
		ゴルフ場	土日に20代、30代のプレーが増えてきている。若い方が徐々に増えていることを考えると景気は良くなっていくように思われる。
	住宅販売会社	住宅の場合、9月までに契約することがひとつの分岐点になるので、これからの3か月は他メーカーとの勝負の期間になる。	
	企業	林業関係者	残暑が残るとは思うが仕事量、あるいは林産も増えるが材価がどう変動するか、材価の高い材の木取り等を配慮して販売高を高めたい。
		水産業関係者	アベノミックス等が波及してくると思う。
		製造業（精密機器）	4、5月がいつも良くない。
		製造業（電気機械器具）	作業量の山を迎える。
		製造業（電気機械器具）	受注が伸びているので、この先も良くなっていくと思われる。
		製造業（電気機械器具）	中国への輸出案件が受注出来そうで、多少生産アップにつながりそうだ。
		建設業	取引先の設備投資計画は好転していると聞くので先行も明るいと思う。
不動産業		長期金利の上昇の気配や、消費税アップの環境要因がある。	
変わらない	家計	スーパー	当分の間変わるとは思えない。
		スーパー	食品小売業は円高・円安・株高はあまり関係ないので毎日努力しているので変わらないと思う。
		コンビニエンスストア	サラリーマンの動きは良くなっている様に思われますが、公共工事は減少しており作業員の人の来店が減少している。
		コンビニエンスストア	新たな企業や仕事があるという話もないし、求人を探している人も多いが厳しい状況。
		衣料品販売店	新しい商品を求めるより、長く着たり、レンタルで済ませている。
		自動車販売店	現在の景気をやや良くなっていると答える現実もあるが、その一方で、全く先が読めない。販売においても連休明けにビタリと動きが止まり、かなり厳しい状況です。
		小売業（燃料）	特段景気の変化の兆しはない。
		小売業（酒類）	近在の企業等、仕事量減少している話を多く聞く。飲食店はアルコール飲料の消費が良くない。
		小売業（水産物）	メディアではアベノミックス等にぎやかだが、なんら変化があまり感じられない。
		スナック	お金を使う事に慎重になっている方が多いと思う。
		観光型ホテル	この景気の悪さは当面続きそうである。
	観光型ホテル	団体予約（職場旅行、同窓会等）の予約が前年同期より増加しており、宿泊については、週末を中心に満室の日が増加している。しかし、日帰り宴会の予約が低調で前年同期を下回っているため、全体としては前年同期と変わらない売上になると思われる。	
	タクシー運転手	経済家ではないので先行きは読めません。	

変 わ ら な い	家計	理・美容店	景気が良くも悪くも変わる様子は無い。
	企業	製造業（製缶）	特に受注が増える情報がない。
		製造業（電気機械器具）	4～6月にかけて受注の減少などがあり、景気が良くなっているようには感じない。今後数か月では、現状より上向き要素が見当たらないので、景気回復には時間がかかると思います。
		製造業（電気機械器具）	現状、良くなる見込みがない。
		製造業（電気機械器具）	円安効果で仕事の増加を希望したいが、最近はまだ円高に振れてきているので先行が不透明である。今のところ将来の良い話は出てきていない。
		製造業（輸送用機械器具）	現状の見通しでは上記の環境に大きな変化が無いと想定され、当初計画から下回った状況は継続すると想定。
		運輸業	円安によって減少している貨物もあるが、工場の生産計画が良くなるかもしれない。
		情報通信業（情報サービス業）	期待は持てるが、まだまだ景気が良くなるのには時間がかかると思う。
		金融業	地元中小企業経営者からは、先行き不透明との意見が絶えず、地域経済が活性化するにはまだ時間がかかりそうである。
サービス業（広告業）	先行の発注予定が、増えていない。		
雇用	求人開拓員	長期の受注がない為、依然として上昇機運に転じるとは思えない。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	農産物直売所	特に休日・土・日の午前中の動きが悪すぎる。
	企業	ゴルフ場	7～9月の現在の予約数は、昨年同期比較で50のレベル、計画対比で45のレベルで推移。昨年の12月から今年の5月迄の消費マインド良好の流れがやや弱含みとなりそうな気配。
		製造業（電気機械器具）	現在の状況が今後3か月先も継続する見込みである。ただ鉄道関連が落ち着きそうである。
	雇用	公共職業安定所	この状態（円安）が続くとトラック輸送からJRコンテナ輸送に切り替えられる（燃料コスト高のため）。
悪	家計	居酒屋	本年12月～3月にかけて管内主要企業での早期退職・退職支援制度の実施があり、現在更に追加での実施を行っており、下請け企業を含めた管内企業等への影響があるものと思われる。また、当所の求人開拓担当者の事業所訪問時の感触からは、全般的に製造業の企業では欠員補充が多く、純粋に増員での求人募集が少ない状況であり、求人開拓が厳しい状況である、とのこと。
	雇用	ゴルフ場	客単価が上がらない。
		学校就業関係者	当社においても客単価が大幅に下がって来ている。又、土日の客が大幅な減少を見せている。
雇用	学校就業関係者	当校の学生の求人開拓において、良い見通しが見いだせない。	

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	住宅販売会社	震災以降、ようやく景気が上向きになってきた。増税後の反動はあるだろうが、今後3か月は忙しくなりそうだ。
	企業	製造業(金属製品)	現在の仕事量、現在の見積りの量、そして業界の予想からすると、今年の秋以降は相当仕事が増える予定である。選別受注が進み、単価が改善されることを期待する。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	現政権に対する、経済政策の期待は大きいと思いますが、参議院選挙もあり、より一層期待度は大きくなると思う。
		百貨店、総合スーパー	やや期待を込めてではあるが、ボーナスなど目に見えて増加する様だと、お客様の購買意欲も増すと考えます。しかし一方で、震災から落ち着きを取り戻し、夏休みを海外、県外へと考えている方も増えているようで、不安材料もあります。
		スーパー	今後一人あたりの買上点数が伸びてくるのではないかと思われる。一点あたりの単価は低くなるかもしれないが、一人あたり購入して頂ける点数が伸びれば売上げも伸びてくる。
		自動車販売店	ボーナス等も多く支給され好感も後押しして市場の伸びは期待できると思います。
		スーパー	衆議院選挙が景気回復のキッカケになったように参議院選挙により、色々なものの動きがでてくると思います。
		レストラン	ボーナスが支給されると少し変わって来ると考えられる。家族で外食する機会も増えるのではないだろうか？
		割烹料理店	気温が上がるにつれて冷たい飲み物が出る。
		観光型ホテル	震災から3年目、そろそろ風評払しょくを期待したい。
		タクシー運転手	夏のボーナス時期、暑さもあり、人々が活動する時期である。客単価、利益率は増加傾向なので景気はやや良くなると思う。
		タクシー会社	参議院の国政選挙が7月にありますが、選挙が終了して国会運営が安定し景気対策の指針が示されて、国内景気対策として公共工事等の予算が確定し日銀の動きが見えてこないと感じている状況があると思いますが、政治安定が少し見えていますので、株価変動もありますが3か月先の景気はやや上向いていると思われます。
	ドライブイン	園内で萩祭りのイベントもありますので期待したい。	
	観光名所	予約などの状況から団体予約が増えている傾向がある。	
	ゴルフ場	ゴルフシーズンに入り期待大である。	
	企業	サービス業(コンサルティング)	政権交代の後、新しい政策や心理面の影響で景気が上向き可能性がある。それを見越して新しいことにチャレンジする動きがあり、設備投資なども見込まれる。
サービス業(広告業)		数か月先の受注・発注依頼が増えてきた。	
雇用	学校就業関係者	昨年同時期より企業からの求人件数が増加しているため今後の景気が良くなる事が期待される。	
変わらない	家計	百貨店、総合スーパー	客単価に大きな変化が見られないことから、今後の景気に大きな変化は見られないと判断した。
		スーパー	消費税のアップには、厳しさを感じます。食品がどの様になるのか？食品値上げ後の税率アップで、家計は厳しくなるのでは…と思います。茨城では、まだ給与アップ、賞与アップなど、収入のアップには、なっていないでしょう…と思います。
		スーパー	株式、円相場とも、今の水準で上り下がりしていくと思うので、そんなに変わらないと思う。
		コンビニエンスストア	昨年に比べて売上前年比の低下が始まっており、景気回復政策が続いても、改善にはつながらないと思われる。
		家電販売店	景気が良くなっていると言われているがどこの話かと思ってしまう。地域差はあるかもしれないがこの近辺ではその実感がない。
		農産物直売所	震災前の売り上げになったのでこれ以上は難しいと思う。
		レストラン	とくに大きな変化は感じられない。
		レストラン	ブライダル関係での受注の伸びがいまひとつ足りないこともあり、施設としての景気は変わらないと思われます。
		都市型ホテル	景気は変わらないと思いますが、良くなるを願いたい。
		タクシー会社	都市部での景気高揚感ニュース等で見るけれど、地方に影響が出てくるまでにおよそ半年は必要。3か月程度では実感するに至らないと思う。
		旅行会社	旅行会社は数か月先が予約が入るので今の状況では変わらないと思う。
		カラオケ店	現状、良くなる要素が見えない。
レジャー施設	良くも悪くも判断できる材料がない。		
レジャー施設	夏の観光客の動向により変わってくると思いますが、予約状況から判断すると、あまり変わらないと思います。		

変 わ ら な い	家計	理・美容店	最近、新客が増えているわけでもなくその反面失客もないので、変わらないのではないかと？
		建築設計事務所	参議院選挙ぐらいまでは現状のままが続くそうである。
	企業	農業関係者	秋の収穫期を迎える時期であり、特に米の価格が昨年より安くなるとの予想が出ている。なお収穫量の予想は、夏は暑くなる長期予報が出されているので豊作が期待される。
		製造業(食料品)	アベノミクス効果は期待できず、景気回復にはまだ時間がかかると思われる。
		製造業(印刷・同関連業)	原材料費、電気代の値上げがありそうだ。
		製造業(窯業・土石製品)	現状で3か月先の受注が予測できない。
		製造業(一般機械器具)	良くなってくれればいいのですがこのまま行けばまだ良い方なのかも。
		製造業(精密機械器具)	弊社の移動年計グラフから読み取りますと、売上の推移は昨年の12月から下降傾向にあります。又、弊社の売上傾向から、年度上期は低迷しますので、今後3か月先の9月は、あまり期待出来ないと思います。
		建設業	変化を求め改革するものは変わるが、変える元気なしと判断される。私らの高齢者に向かう世代は自然淘汰で消滅すると判断される。
		情報通信業(情報サービス業)	民間投資拡大を主とした成長戦略に期待するが、3か月先では、まだ大きな変化は出てこないと考える。しかし、顧客から、比較的商品の売れ行きが良くなってきたとの話も聞こえており、商談案件の増加傾向も相俟って、徐々にではあるが、景気は回復基調にあると感じてはいる。
金融業		政府の各種経済対策に対する期待感はあるが、地方への経済効果の波及までに時間がかかると思う。	
不動産業		現状の状態からしてあまり良くなる傾向が見られない。	
サービス業(広告業)	広告予算も宣伝方法も、昨年並みで、変化を感じる材料が見当たらない。		
雇用	人材派遣業	この先、大きい受注の予定はない。	
	公共職業安定所	例年9月は有効求職人数の増加、有効求職者数の減少がみられ求人倍率は改善すると見込まれるが、製造業等では円高・円安の動き、製造拠点がアジア等の海外に移ることにより先行き不透明なことから、現状と比べ雇用情勢が改善する見込みが少ないものと思われる。	
	求人開拓員	為替差益、円高利益で恩恵を受ける大手企業と違い、中小企業は時間がかかるのではないかと。むしろ、経費高騰をどこでカバーするか。このままだと、個人消費においても、電気代・物価高騰と出費が重なりタンス預金に回るのではないかと。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	近くの大手スーパーが4月に閉店して、土日祝日と平日の夕方の人通りがさらに減ってしまった。当地を取巻く地域住民の食糧品の購入が不便になった。7月の参議院選までは、日銀の金融緩和、円安容認、株価高騰等の様々な操作により経済を押し上げている様だが実態経済が国民末端まで行き届かず3か月後は地方経済、地方都市は大変厳しい状態になるのではないかと。
		スーパー	傾向は変わらない。
		コンビニエンスストア	株価の下落、住宅ローンの長期金利の上昇等、一般消費が上昇する材料が見当たらない。
		専門スーパー	円安から、少しずつ物が上がる傾向にあり、必要な物しか買わず生活防衛している人が多くなりつつある。
		旅行代理店	円安傾向による海外旅行の動きが悪い。参議院選による影響で動きが鈍化している。
		タクシー運転手	5月は連休が多くいつもは売上げは最低ですが、今年の5月はそれにも増して売上げが少ないです。売上げ35万円程度では生活が出来ないです。本当に困った事です。
企業	製造業(食料品)	アベノミクス効果もなく、消費動向の低調さにじわりじわり締められている感じがする。	
	製造業(印刷・同関連業)	良くなる要素が不透明である。	
	運輸業(道路貨物運送業)	アベノミクスと実体経済は乖離があり、なお一層のコストダウンや物流の見直しなどが計られると思われる。	
悪	企業	都市型ホテル	夏期は例年客が減少する事もあり、今よりは悪くなると予想している。

(3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	小売業（食品）	お中元の季節なので少し期待したい。それに8月のお盆はそれ以上に期待したい。
		家電販売店	景気に左右されている感はありますが、概ね改善していくように感じております。又、消費税率のアップの話が出てくる秋以降は、また物が売れてくると思われま。
		農産物直売所	近隣県からの客足が戻っている。
		衣料品販売店	若い年齢（16～25歳）は流行品に関しては価格に関係なく買い求めがある様に思います。
		レストラン	消費税が上がる前に大きな買い物をしようと思えます。特に家、土地など…。
		タクシー運転手	平成24年度に比べ平成25年度に入って一日の売上が3,000円前後上向いているので少しは良くなって来ると思われる。
		ゴルフ練習場	夏のボーナスが増額になれば、レジャーに回す金額が少し増えると思えます。
		理・美容店	今年の夏の暑さで、私達の景気に影響するので、少しは良くなっていると思う。
	企業	理・美容店	今年はボーナスが多くなる会社が多いのでその分支出に回るでしょう。旅行を計画している人が多い。
		製造業（食料品）	関連業界は国内一般景気とは違う動きが特徴にて魚類水揚状況次第の面がある為、現在は徐々に水揚量が増加していることから景気は上向きつつあるが、禁漁区関連で魚群の移動が変則的となり、今後の展開が不透明にて景気上昇が持続するかどうか予測が難しい。
		建設業	着工件数は、来年3月位までは続きそうです。
		保険業	給料が少し上がっている所が見られる。
	雇用	不動産業	消費税の関係から住宅、テナント等の建築関係は注文又は契約が多くなるのではないかと？
		民間職業紹介業	景気の動向がこのまま好転していけば、さらに製造業からの求人が増加するものと思われる。
変わらない	家計	商店街代表者	消費拡大に期待感はあるものの、物価上昇、固定費の増加による不安感とが混在している状態です。
		商店街代表者	暑い時期なので客の動きが鈍くなるので景気は変わらないと思います。
		スーパー	客単価や利益率に変化がない。
		スーパー	お客様が普段の生活に使うお金は変わらず、ムダなお買い物をせずに必要な物しか買わない。
		コンビニエンスストア	業種によって景気の良し悪しに分かれており、小売業が良さを実感できるのは、消費者の給与が変わらない限りで変化はないと感じる。
		コンビニエンスストア	消費増税を見据えて大きな買い物は消費が高まることが予測される一方で、生活必需品、身近な消費においては買い控えが続くのではないかとと思われる。
		自動車販売店	最近株が上がったり、下がったりしている様子が結局は一般的には何も変わらずしばらくこのままだと思う。みんなが景気が気にはなっている様子みたい。どうなるのか。
		小売業（菓子販売店）	多分、現在と変わらないと思える。アベノミクスも地方までは実感できない。
		小売業（酒類）	お客様の取り合いで各小売店の競合状況はより厳しくなり、市場の先行きからもあまり変化（改善）しないと感じる。
		小売業（薬品店）	消費税増税前の、消費拡大は期待できない。逆に景気減速が心配だ。
		小売業（書店）	売上げの波が大きいうちは変わらない。
		割烹料理店	お客様の様子では、景気が良くなっているのは実感がまだ無いようだ（ニュースなどで、景気が上向きだと聞くが）。
		観光型ホテル	予約団体人数に変化がない。
		タクシー運転手	定期修理も間もなく終息した折、平常ベースでは一般の乗客が少なく向上の期待が出来ない。
		タクシー運転手	現在夜間の乗車率が悪いので、この状態が続くものと思われま。
		ドライブイン	景気が回復し、所得がさらに向上しないと目立った効果はないと思えます。
		ゴルフ場	予約の受付を3か月前より実施しております。予約推移も前年よりは少し良い状態ではありますが、料金は前年より下げております。
		レジャー施設	当施設の該当する地域における産業の状況等が、大きく変化するとは考えられない。
		クリーニング店	将来への不安もあるので、より安い物をと慎重に行動している。財布の紐は固いようです。お金が回らない。
		室内装飾業	あまり変化がないと思われまが、政府が推し進めている金融政策などで少しでも明るい材料を作り、進めてもらいたい。

変 わ ら な い	家計	住宅販売会社	株価も下がり始め、様子見のお客様が動く気配がない。
		住宅販売会社	長期金利が上がり始めた事もあり、住宅ローン金利にはねかえる事で、一時的には駆け込み需要もあると思うが、3か月先となると今より良くなりはないと思う。
	企業	農業関係者	空梅雨の影響で稲に影響が出る。早生品種は特に打撃を受けると考える。
		製造業（食料品）	経済効果が地方まで来るのに2~3年かかると思われる。それまで持続するか疑問である。
		製造業（食料品）	イベントショップ向けの商品が伸びていますが、自社店舗売上の伸びが見られなければ、このまま、変わらずいってしまう様に思います。夏物商品に期待をかけています。
		製造業（金属製品）	大手企業（製造業）は軸足製造拠点を日本ではなく、海外へ移しているため、日本での生産は将来的にも薄いと思われるから（現実、年々数量・売上とも下降している）。期待感東北方面復興本格的始動を望んでいる。
		製造業（化学工業）	需要伸長を何より期待しているが、夏場を前に原燃料の更なる高騰も予想されることから、業績回復はあまり望めないか。
		製造業（鉄鋼業）	急激に好転する様な要素が見つからない。政府の成長戦略により、好転する事を願う。
		運輸業（道路貨物運送業）	現状のまま、秋口まで大きな変化は無いと思う。5月連休明けから荷物の配送は鈍くなっている。後は参院選の影響で様子を見る事が大事である。
	運輸業（道路貨物運送業）	新年度になって荷動きが良くなると期待していたが変化がない。	
雇用	人材派遣業	世の中では株価の上昇や円安動向など景気の底上げ条件が揃いつつあるものの、生産現場には連動しにくく今のままの状態が続くのではないかな？	
	公共職業安定所	一つの会社でも利益が相殺されることもあり、大きく良し悪しに変化はないように思える。	
	就職支援センター	企業に人的投資の意欲がみられず、幅広い分野での雇用増が期待し難い状況にあると考えられる。	
やや悪くなっている	家計	小売業（金物店）	公共事業の発注が遅く、末端に来るまでは時がかかるみたいです。また地元企業の合併で負の部分下請けに影響を及ぼしています。
		洋食食堂	売上げの変化はあまりないと思うが、食材等の値上がり分を商品に加えられない分、利益の幅に影響が出てくると思う。
		日本料理店	仕入れの単価が上がっているので良い話を聞かない。
		タクシー運転手	大手企業では一部景気が上向いたと聞くが、全体的には不況感変わらず良くなると思えない。
	企業	製造業（食料品）	景気は緩やかに改善しているのかもしれませんが、その兆しが地方にはまだ先の事。消費者の買い控え・低価格商品の需要で生産者の体力が奪われてしまいます。
		建設業	新年度の受注増につながる様子が、なかなかありません。
		金融業	取引先は、長期国債の金利上昇にともない、貸出金利上昇の話題がある。貸出金利の負担増などで、経費負担が見込まれる。
雇用	学校就職関係者	7月から給料が下がるので悪くなるのではないかな。	
悪	企業	サービス業	自己の企業環境が、親会社依存によるところが大きく、親会社の経営環境の悪化により向上・改善する見通しはない。

(4) 県南地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	住宅販売会社	土地購入後の住宅検討が本格的に始まっていくので、一時的かもしれないが、消費が上向くのは確か。
やや良くなっている	家計	スーパー	ここ3か月ほど買上率と客単価の上昇(トレンド)が見られる。
		小売業(酒類)	今のままの政治状況が続くと思われるので、客単価や売上げは上昇すると思う。
		和食食堂	単価アップ(高くともいいものを)思考があり、今後も続くと思われます。
		タクシー運転手	期待を込めて良くなってほしいです。
		タクシー運転手	アベノミクスに期待したい。
		ゴルフ場	コンペ等の予約が、昨年同期より早くなってきて、パーティー等の単価も上昇しつつある。
		ゴルフ場	2か月先位までは予約も安定しやや良くなっていると予想出来る。ただ3か月後は数字を見る限り難しい状況だ。以前より良くなっていると思われるものの確信には至っていないのが現状だ。
	レジャー施設	一人あたりの平均購買単価がなだらかな右肩上がりになっている。	
	企業	製造業(家具・装備品)	良くなっている事に期待したい。次回には良い報告が出来れば希望です。
		建設業	今月が今までになく売上げが少ないのだから、3か月後は間違いなく景気が良くなっていくと思う。役所や民間からも見積り問合せがぼちぼち来ており、やや出遅れて、景気が動いて来ていると思う。
		建設業	消費税アップの話題が増え、またできることならその前に工事を行いたいとの要望が出始めている。
		建設業(設備工事業)	夏に向けて、工事(造成)発注予定が数件入っている。
		運輸業(倉庫業)	販売、生産ともに増加すれば良くなる方向になると考えられます。
		サービス業(広告業)	発注・見積り依頼が増えてきた。
変わらない	家計	スーパー	景気上昇傾向と耳にするが、前年同月の売上高、客単価の比較と前月の比較をしても、あまり変わっていないので変わらない。
		スーパー	生鮮の一品単価が下がっており、また客数も減少傾向にあるため引き続き厳しい状況が考えられる。
		コンビニエンスストア	価値を感じる商品・サービスへの対価を払う意思は感じられるが、(買上げ)点数では変化が確認出来ないことから、変わらないと考えます。
		家電販売店	現状より変化が出ていない。
		小売業(生花店)	全体には上向いている様には見えるが、地元駅前の状況(シャッター通り)で主の店舗は、飲食が中心であり、事業所が減っている(これ以上は撤退はないと思う)ことから、今後の事業所向けの安定した需要が期待できない。
		専門スーパー	実感が無い。
		ガソリンスタンド	アベノミクス効果も7月の参院選挙の結果にしても、多くの一般消費者には大きな影響はない。
		洋食食堂	現状を維持できればいいのだが、これからの各種イベント等に期待したい。
		洋食食堂	商売としては厳しい時代ですが、景気が良くなっていく実感は10年先の話と思い、いつもと変わらず仕事をやらせていただくだけです。
		寿司店	魚の仕入値が少しずつ上昇している様だ。4月のベースアップもそこそこお客様の懐具合もなかなか厳しそうだ。
		都市型ホテル	宿泊予約状況では、団体需要についても特に大きな伸びもみせず変わらないと思われる。宴会予約状況では、昨年と微減、レストランも同様に接待が減少したかと思われる。また、宴会は依然件数確保が以前より厳しい。抑える傾向にある。総合的にみて、景気はあまり変わらないと思われる。
		都市型ホテル	全ての部門において予約状況が延び悩んでおり、現在と変わらないかと思われる。
		タクシー運転手	夜の飲食店さんからのタクシーの依頼が少なくなっている。この先あまり期待できない。
		旅行代理店	お客様の消費意識は高まっているかもしれないが、予算的にはまだまだの感じである。
		タクシー運転手	仮に所得(収入)がアップしても、将来に備えて貯蓄に回す傾向が見られる気がする。
		タクシー会社	先の事なので、あまり分からないが、良くなるとは思えない。
		タクシー運転手	対前年比(營收の)を見ても上昇傾向になく、アベノミクスが真価を発揮するには当分このままで、雇用情勢が変化(上昇)するまでは変わらない。
建築設計事務所	全くといっていい程、動きがない。		

変 わ ら な い	企業	農業関係者	米の販売状況が悪化すれば影響があると思う。
		製造業（食料品）	投機筋の思惑で商品価格が乱高下しており原材料の価格が落ち着かない。
		製造業（食料品）	都心では景気の良い事を時々耳にしますが、地方では良くなってもしばらく先のことだと思います。
		製造業（飲料）	今以上の良化はない。
		製造業（印刷業）	景気が上がる実感はできず、来客数のアップも見込めない。
		製造業（窯業・土石製品）	円高による原油や原材料の高騰が予想される。
		製造業（非鉄金属）	引き続き生産量は高水準を予定しているが、電気・ガス・その他原材料などが上昇傾向にあり、収益面の確保はさらに厳しくなるものと予想している。
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらない。
		建設業	多くの友人は6月中旬以後期待しているが、私は当社の取引先の担当者及び、経営者の判談より、まだまだ受注も増えていないし2~3か月先の見通しははっきり出ていない。又受注契約の受取りも全然改善されていないので資金繰りが大変と、かなり深刻の様子。人手もなかなか集まらず、当分このままの状況で見合わせるつもりだと、100人規模の社長の談。当社も円安の逆の業種多い。
		金融業	取引先の受注状況に変化が無い為、今後3か月先に景気が良くなるとは思わない。
		不動産業	ここ最近のデーターとして円高・株安に振れてムード的にやや弱いと思うが、全体としては変わらないと思う。製造・輸出等实体经济が回復しないと厳しいと思う。
		雇用	人材派遣業
求人開拓員	当地に、大型ショッピングモールができて、一時的に年明けからつくばには求人があったが、落ち着いて来た。今後大きな会社も来るとも聞かない。だから変わらない。		
や や 悪 く な っ て い る	家計	小売業（酒類）	大型店が出来るのでお客様が減る事は間違いない事だと思われます。
		スーパー	物価上昇の懸念がある。
		コンビニエンスストア	アベノミクス効果など報道では景気上昇のようなニュースが多い。しかし現場では全く感じられない。原材料の値上げや原油の値上げ、住宅ローンの金利上昇など、収入が変わらない状況の中、現場では良い方向に向かっているとは考えづらい。
		農産物直売所	原因はわかりませんが上に述べたように客足、単価、売り上げが下回っている。しかしながらリピーターは多い。
		パチンコ店	今と3か月先では、例年の感覚から良くなる見込みはなく、むしろ悪くなっている傾向である。
		ボウリング場	公共料金等値上げは金額にすれば少額ではありますが、この値上げが他の商品の値上げ要因となりうる為、節約消費となるのでは。
		理・美容店	暑くなれば髪を切りたくなるので夏に向け良くなるはなってくると思うが、まあお盆くらいまででしょう。9月の時ではそんなには変わらないかも。うちの店の回りは公務員官舎が多いので、この官舎廃止に向け、髪を切ってる場合ではないかもしれない。総合でみれば良くなるとは思えない。
企業	製造業（窯業・土石製品）	当社はコンクリート二次製品メーカーなので、原材料の値上げ要請が強い。製品価格の値上げをお客様にお願いしているが、なかなか応じてはもらえないので、収益的にはきつくなっている。東北地区においては、人手不足、賃金の上昇、生コン等資材費の値上げがきつくと、工事が発注されても、入札が不調になり工事が進まない例が増えてきている。昨年に比べ出荷が落ちている。	
	雇用	学校就職関係者	若い主婦層や学生が昔と比べあまり美容院に行っていないという印象も受ける。私立の高校は人集めが難しく、大学付属でも就職率があまり良くないことなどから特に工業高校の人気の高いと聞いている。全員大学といった風潮から再び高卒で就職という考え方に戻って来ているように思う。

(5) 県西地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	コンビニエンスストア	一時金での増加が決まっている会社・企業が多く、行楽期間での動きが活発になることが予想される。
やや良くなっている	家計	農産物直売所	内政が安定してきているので…。来店者数・客単価ともに上昇傾向なのでやや良くなっていると思われる。
		和食食堂	今月は最悪だったのでこれよりも悪くなるとは思わない。例年、9月はいくらか状態が良くなってくるのでやや良くなっていると思う。
		ラーメン店	株価上昇などで消費動向を期待しています。
		タクシー会社	今後、各企業で給与、賞与などの配給が増加すれば、多少の消費が期待できる。そうなれば、タクシー業界も少なからず売上につながるであろう。
		タクシー運転手	近くのスーパーの駐車場にある車が増えている。夕方の買い物客が多く感じる。
		ゴルフ場	予約状況から、景気はやや良くなっていくものと期待する。
		ゴルフ場	消費単価が若干上がってきている。
		理・美容店	ボーナスも出る、買い物（金額の高い物）をという話題が出るようになった。ホットな話には楽しくなる。今後が明るくなると思う。
		建築設計事務所	地方銀行にも金融緩和の波が押し寄せ、少しずつ融資が決まりだすのでは。
	住宅販売会社	消費税増税はほぼ確実であることから、今後ますます駆け込み需要が増えると思われる。	
	企業	製造業（窯業・土石製品）	新しい取引の見込みがある。
		製造業（金属製品）	希望的なものも含めて引き合い等（新規）は増える可能性はある。
		金融業	消費税率の引き上げを見据え、建設業や自動車販売店での前倒での受注が期待出来る。
		不動産業	売買、賃貸客がいずれも増加傾向。
雇用	公共職業安定所	一部にリストラによる解雇はあるものの、雇用調整をしなくても良い状態に回復している事業所が増加している。ただし円安の影響により、食品関連事業所は原料高の中、今後の景気動向によっては価格を上げざるを得ず、懸念もある。	
変わらない	家計	商店街代表者	景気の良くなる材料が何もなく気が重い。当店のトップはそれでも買わせる努力が足りないと言うが…。
		家電販売店	消費税増税前の駆け込みはあると思うが、円安により価格が上がる可能性がある為変わらないと予想する。
		和食食堂	折角景気上昇が感じられる様になって来ましたが、それが続くという確信に足る根拠を見つけられる事が出来ていません。
		和食レストラン	日照時間が伸び、ディナータイムの集客が弱くなっています。3か月後の9月もやはり気候的な関係もあり、現在とあまり変わらないのではないかと考えられます。客単価も増加は見られず、横ばいです。
		都市型ホテル	アベノミクス効果と言われているが、都内とはちがいで、多少の時間差はあると思われるので、もう少し時間がかかるのでは…と読んでいる。もちろん良くなってくるに、越したことはないが…。
		旅行代理店	今のまま続く様に感じます。燃料費が少しずつ下がってきている様です。物価は上がっているように思います。
		ビジネスホテル	当面は大きな変化はないと思われる。9～12月期に動きが出てくるのではないかと？
		ドライブイン	良くも悪くも急激な変化はない様に思う。
		ドライブイン	円安による光熱費・食料品等の相次ぐ値上げが報道されており、財布の紐はゆるくならないと思われる。夏のボーナスも大手企業は大幅アップが報道されているが、中小企業は厳しさが増していると思われ、消費には回らないような気がする。
		レジャー施設	当施設の利用客数の推移をみていると減少傾向後続いている。
	理・美容店	お客様の話を聞いても、節約する事にも疲れてきている方が多いように見受けられる。ボーナスもアップする所が多いと聞くので、良くはならなくとも変化はあまりないと思う。	
	企業	農業関係者	夏に向けて梨等の果実が出荷になるが、果物の売れゆきは変わらないと思う。青果物全体が価格は良いが、支出も多い。
		農業関係者	今後の天候しだいで大きく左右される。
		製造業（食料品）	世間的には賞与も増えそうだし、明るい感じはあるが、原材料関係が円安の影響で値上がりし、また、輸入製品も値上がりし始めると景気に影響が出てくることも考えられる。
製造業（食料品）		若干、この先の売上増は望めそうだが、為替の乱高下により全体的に仕入高が予想される。プラス要因・マイナス要因の両方があり最終的に横ばいが予想される。	

変 わ ら な い	企業	製造業（印刷・同関連業）	「脱デフレ」には大いに賛成。「ゆるやかなインフレ」になるのが、零細企業にとっても望ましいことだし、経済活性化にも結びつくと思うが、安倍首相の3本目の矢も決定的なものがない。東日本大震災から2年3か月経つが「ガレキ」もそのままの事。もっと復興資金を注入し、東日本をはじめとして地方に予算をつけては——。地方が良くならなければ、景気も良くならない。
		製造業（化学工業）	自動車・半導体・液晶部材とも顧客により需要がまだら模様。但し為替は現状レベル（1\$=¥100）前提で。
		製造業（窯業・土石製品）	同業者に最近、現在の仕事の状況を尋ねますと、異口同音に仕事が無い、少ない、安い、利益がない、との言葉を発しますが、中には忙しくて忙しくて、間に合わせるのが大変だと言う声を聞かれます。やり方次第で状況は変わります。
		製造業（電気機械器具）	相変わらず受注動向が不透明であり、現状の対策を継続していく見込みである。
		建設業	景気が良いとは思えない。
		電気工事業	最近の株価下落や円相場の上昇により、少々不安である（むしろ悪化するのではないかとも思う）。
		製造業（印刷・同関連業）	地方ではアベノミクスの恩恵を被っている所もない様です。
		サービス業（コンサルタント業）	新聞報道等では景気回復？株価上昇等々の情報が出ておりますが、中小零細企業には無縁の感覚であり今後もすぐには変化は無いと感じております。
雇用	人材派遣業	相手（取引先）次第の仕事だから、見通しが見えない。	
	サービス業（広告業）	見積り検討が少ない。	
	求人開拓員	新規求人は従来からある求人で新しい職種はない。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	選挙のある年は昔から景気は良くないとされている。
		スーパー	商品の値上げが消費にやや影響がある様に思う。
		コンビニエンスストア	梅雨入りの早い年は低温・多雨の傾向があるようです。低温の場合、酒類・ソフトドリンク・アイスなどの販売で苦戦する事が予想されます。また近隣にコンビニ出店の情報があり、競争が激化する事も予想されます。
		タクシー運転手	個人客及び法人客の利用度が増える要因が見えない。
		日本料理店	光熱費の上昇、物価の上昇に比べ客数、客単価のアップは望めなさそうです。
		ゲームセンター	本来なら5月は4月よりも売上が伸びるはずですが、4月とはほぼ同じ売だった事を考えると今後も良くなるとは考え難い。
企業	製造業（印刷・同関連業）	日銀がデフレ脱却を目指して様々な政策を打っているようだが、印刷業界にはまったく効果はなく、デフレスパイラルの渦は止むことなく進んでいる。紙の値上げが本格的に実施されると非常に苦しい経営になる。	
	製造業（一般機械器具）	良くなる話がかえって全体的に良くない。実際に売上が悪いので見積りばかりで注文がない。	
雇用	学校就職関係者	当面、円安による材料費値上げが、中小企業の収益を圧迫すると思われる。	
悪	家計	クリーニング店	物価が上がっている物もあるため、お財布の紐は相変わらず厳しい。

### Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

#### (1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	地域的な差はあると思いますが、アベノミクスの効果に期待したいと思います。活性化施策の波紋は徐々に地方に拡大するのではと思っています(株高に期待しています)。
	商店街代表者	担当社の高齢化や廃業等によって他社からの受注が増えてきている。
	スーパー	色々な物、商品の物価が上がり、懸念している。
	コンビニエンスストア	大型店舗に人が流れている様に感じます。
	小売業(弁当・惣菜店)	見本市などでは、販促の意識が高まったのか、より積極的なアピールを感じた。
	小売業(燃料)	節約傾向は相変わらずである。
	小売業(酒類)	個人の物販業者が年々閉店して、町の活気を感じることができない。近い将来、街路灯等消えてしまわないかと心配です。
	小売業(水産物)	若干ではあるが購買欲が上がっている気がする。しかし、景気が良いという言葉はまだ周囲から聞かえてこないのが現実。
	小売業(時計)	株とか投信など持っているものが、元に戻ったとか、明るい顔が見られる。
	レストラン	先の景気に不安であり贅沢しない様に思う。お金をなるべく使わない様心掛けていたという声が多い。
	スナック	堅実ではあっても休日、ショッピングモールや近場でのバーベキュー等、割とお金のかからない楽しみをする方が増えた様に思います。
	中国料理	最近ますます電気代、ガス代、小麦、油など値上がりばかりなのに、景気は良くなっていないため値上げはできない。そのため利益率は下がる一方なので、同業にかかわらず「大変だ」との声が多いです。
	観光型ホテル	消費税増税が来年にせまり、レジャー関連に悪影響を及ぼすのではないかと職場内で不安になっている者が多数出てきている。
	タクシー運転手	安売りなど、いろんな特典を付けて頑張っている商店店が見受けられる。
	タクシー運転手	原子力発電所や民間企業の原子力関連の需用が激減するなか、火力発電やガスのエネルギー関連企業の設備投資が順調に伸びてきている感があります。今後とも公共事業、また大手企業の設備投資に期待し地方の末端までの景気回復を望んでおります。
	タクシー運転手	最近タクシー業では、燃費のエコを考え、今までのLPガス使用の一般的セダンタイプではなく、ガソリン使用のハイブリット車の導入が多くなってきた。車両代はずいぶん高いが抜群の燃費効率で高いガソリン代を差っ引いても数年で元が取れるということだ。
	ゴルフ場	65歳以上の方が増えた。40歳~50歳台の方が減っている気がする。
	ゴルフ場	高齢者に健康第一のムードが見られている。7月21日の参院選挙の動向に注視している。天気予報の見通しを注視している。
	レジャー施設	景気は回復傾向にあると報道されておりますが、実感としては従来とあまり変動はないように感じております。
	ゴルフ場	震災の影響は徐々に薄れていっている(改善されてきている)。
クリーニング店	ガソリンの単価が高騰して消費者にとっては大変である。	
住宅販売会社	クルマの販売が好調だという話を聞く。やはり増税前の駆け込み需要と思われる。	
企業	林業関係者	奥久慈ソーランとか大きなイベントにより集客があるが、もてなしの気持でさらなる集客等を図ってみてはと考える。
	製造業(精密機器)	業種、地域、お客様ごとに忙しいところと、暇なところの差が大きい。
	製造業(製缶)	県北地区は特に良い話がない。
	製造業(一般機械器具)	6月に賞与が支給されますが、前回支給に比べ数%増額となる見通しである。
	製造業(電気機械器具)	円や株の相場が乱高下し世間では一喜一憂しているが、当社は輸出入を殆ど行っておらず影響がない。ただ日用品や食料品が値上げしていることから、円安の影響を大いに感じている。
	製造業(電気機械器具)	ボーナスが昨年より低く、景気が昨年より悪いと実感する。
	製造業(電気機械器具)	マスコミでアベノミクスによる景気上昇を煽っていたが、現場の実感としては仕事は全く増えていなかった。株価の上昇もいざれ止まると思っていたが、ついに株価急落が始まり下げ止まらない。夏以降の景気の動向が非常に心配である。
	製造業(電気機械器具)	国内案件の伸びが全く無く、更には材料費、電力料金等のアップに対し価格反映はされず、引き続き厳しい環境にある。
	運輸業	円安による油の高騰。
	金融業	環境エネルギー事業に関心を示す企業が増えてきているが、様子見している状況で具体的な動きは鈍い。
	不動産業	継続し、慢性的な職人不足が続いている。また、材料費や人件費の上昇が問題になっている。
	運輸付帯サービス業	政策の中で、「アベノミクス」効果を期待して打ち出している施策が、本当に中小・零細企業が、その恩恵を受けるか?はなはだ疑問に感じる。なぜならば大企業レベルまでで、その下に落ちてこない内にグローバル経済が冷え込むと思う。
	雇用	求人開拓員

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	景気が上向きといっても、まだまだほんの一部のことと思う。全体的に波及していくにはもっと時間が必要だと思う。
	商店街代表者	今までデフレスパイラルで買い控えていた消費者が、アベノミクス効果でこれから景気が良くなる期待感で、消費が今年1月から4月までは動いた感が有ったが、実際の経済効果がないので、消費が冷え込み始めた。円安で輸入品の値上がりやジワリジワリと消費者の財布の紐を固くし始めている。円安により輸出で経済が良かった過去の日本においては、国内で生産して海外に販売することで、国民皆が潤って円安政策で良かったのだが、現在の日本においては、基幹産業である自動車産業、電機製品等は、国内においては開発、企画、設計等の一部があるだけで海外に生産拠点を移しており国内労働力が潤わないので、円安は大企業の業績が上がるだけで、国民にとって円安は電気料、交通費、食材費が上がり、価格転嫁が出来ない中小企業、零細企業を圧迫するだけで、円高の方が良いと思います。現状の国策では中小地方都市の中心街では、大変厳しい状態が脱皮出来ないと思います。県の政策を期待しております。
	百貨店、総合スーパー	一部のお客様に高額品購入の動きがある。前年に比べギフト品の単価が減少（お礼ギフト等）。
	スーパー	食品は、値上げ品が多くなりました。6月～7月～順次値上げです。
	スーパー	4月は株価が右肩上りだったので、ミニバブルがおきて、ドンペリニオン等（高級シャンパン）が、よく売れた。
	コンビニエンスストア	少しずつだが価値の高いものへの消費意識は高くなってきていると思う。
	農産物直売所	ランチバイキングの来場が震災前に戻ってきている。
	専門スーパー	都会では、株高により潤っている人が見られるようだが、地方での株高の好影響は感じられない。趣味・嗜好品等の動向が弱い。
	スーパー	金融機関による株式、不動産投資の斡旋が増えたので、半年もすればその効果がでてくると思います。
	レストラン	経済効果（アベノミクス）の影響は感じられない。
	レストラン	母の日、父の日などのイベントでの外食が若干増えてきた様に感じる。
	都市型ホテル	海外からのお客様が徐々に増えてきている。今後に期待します。
	旅行代理店	急激な円安によって海外団体等の収益が悪化している。
	タクシー運転手	アベノミクス効果なのか、人々が少しお金を使っても良い雰囲気が出てきたのは嬉しい事である。しかし物（の値段）だけが先に上がっている。本当に給料が上がらなければ厳しい状況だ。
	タクシー会社	5/27～6/2までのダイヤモンドカップゴルフの影響で、期間中水戸～大洗の搬送が目立った。大きなイベントは単発的ではあっても、それなりに経済効果が感じられた。
	タクシー会社	原研放射能漏れ事故が、地元を中心とした企業の本支店業務及び営業所等の移転に拍車をかけて県南地域や県外移転をしています。茨城県は放射能地域のイメージが強く県内外の人々に定着しつつあり、人口の減少と観光客減少を招いていると思われます。茨城県のタクシー業界の前年比は、下降線を辿っています。
	旅行会社	タクシーでの羽田、成田送迎を頼まれますが、ヨーロッパなど遠くへ行くお客が増えてきている様です。
	ゴルフ場	周辺のゴルフ場では、低価格化が進み厳しい環境は未だに続いていると思われる。
	カラオケ店	娯楽に対する支出の減少（オーダー数の減少）。
	レジャー施設	お土産品の売上げの回復だけでなく、飲食関係の売上も若干ではあるが回復してきているので、今後夏場に向けて、飲料の売上増を期待している。
企業	製造業（窯業・土石製品）	景気が回復してきていると言われているが、地方や中小企業まで影響が出てきている感じはしない。
	製造業（一般機械器具）	私のお願いしているタクシー40年以上の業歴、営業をやめました。別のタクシー会社に吸収されたみたいです。水戸の大工町に新しいホテルができ、開業致しました。大工町、元気になれば良いですね。
	製造業（精密機械器具）	世間で言うところのアベノミクスの影響かどうか、工場現場設置型の、大物製品の買い替え受注が増えています。これらの動きから、設備投資の意欲が以前より高まっている事が感じられます。
	建設業	若者の変革に注視して、高齢化に向かう世代は補助的に立つ位置を変えないとまずい。世代間エゴが経済を悪化させている。
	運輸業（道路貨物運送業）	デフレ傾向は続いており、決して必要以外のもの高価なものは買わない。
	情報通信業（情報サービス業）	円安影響により諸物価上昇が懸念されるが、近隣地域において、住宅の建設が目につき、車の買い替えの話も多く聞かえてくる。どちらかと言えば、消費税アップの行方が決まっていなくても、防衛策は確実に講じているようです。
	金融業	個人金融資産について、株式等で資産運用する動きが見られる。
	サービス業（コンサルタント業）	空き店舗への新規出店がいくつか見られるなど新陳代謝が進んだ。中心市街地では、不況下でもなかなか家賃が下がらなかったが、ここ最近では貸主の意識にも変化が見られ柔軟に対応してくれるところも増えている。また、分譲マンションが完売するなどヒトやモノの動きが出てきた。
雇用	公共職業安定所	マスコミによる景気上昇の報道に反し、窓口に来所する事業所担当者からは「景気が上昇している」との感触はほとんど得られない。
	学校就業関係者	学生の服装がファッショナブルになってきた事。流行の服を着用している学生が増加した（目につく）。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	小売業（食品）	ゴールデンウィークは天気も良く人の動きがあり売上げの方も上がったが、それ以降はだめだった。
	スーパー	ギフトの時期になりましたが、主力商品は30→40%割安な価格訴求のギフトがメイン、主力品です。その傾向が続くと考えられます。
	コンビニエンスストア	夏のボーナス伸長率がバブル期並みという話を聞きますが、消費動向に大きな変化は見られません。
	小売業（酒類）	各団体でイベントの予定があるとうかがっているが、具体的に最終注文まではなかなかいかない。イベントの企画数は若干ではあるがその回数は微増していると思われる。
	小売業（金物店）	地元企業が合併したのでラインの一時休止をしたり、高炉を止めるなどの影響で陰りが見えてきています。
	レストラン	女性でも積極的に資産運用する方が多くなった気がします。レジャー、旅行など最近では趣味に費用をかける様になりました。
	洋食食堂	忙しい日と暇な日の差が大きい。特に暇な夜がたまにある。円安の為か食材の多くの商品が値上がり始めている（円高の時はあまり値下げの話はなかった様に思えるが…?）。
	割烹料理店	空いた土地を利用して、ソーラーパネルが設置されているのを多く見かけるようになった。エコな産業は、景気は上向きのような気がする。
	日本料理店	セール品があったとしても本当に安い物又は必要な物しか選ばれていない。
	タクシー運転手	茨城空港の利用客の利便対策としてタクシー乗合いシステムの実行を期待したい。
	ドライブイン	震災後、少なかった観光ツアーのお客様が増加してきている。
	理・美容店	やや高額な物を買う人が増えた。レジャー費を増やす人が多くなった。
	クリーニング店	消費税が上がるので、太陽光・車・住宅など金額の大きい買い物をする人が多い。震災の影響で忙しかった瓦業、解体業は仕事が減ってきている様です。
	住宅販売会社	アベノミクスが本物か否か、先行きが見えないため、景気が足踏みしている状況のようだ。
住宅販売会社	建築資材の値上がりが始まっている。このまま値上がりが続くと販売価格に転嫁せざるを得ない状況になってしまう。	
企業	農業関係者	県や市のイベントにおいて銚田産メロンを今年は特に大きく取り上げていただき、売上も上々である。また、二次加工品も人気を博している。
	製造業（食料品）	昨年に無く、今年はデパート・アンテナショップ・高速道路サービスエリアの大型セールの実施があった様で、部門によっては商品製造の忙しさが続いています。
	製造業（食料品）	製品の販売数量は順調であるが、前述の要因で大巾な魚価高となって採算悪化に苦しんでいる。納入先ブランド（当社はOEM主力）へ納価アップ交渉を進めているが、大手量販店の意向が強くてなかなか進捗しないことから缶詰業界の景況は一般とは乖離している。
	製造業（金属製品）	短期的に、建築業は復興などの影響で上昇ムードであるが、長期的な考えでは少子化により、今後は下降すると思われる。今後の改善策は、付加価値の高い商品開発、企業自身の持ち味と海外との差別化がカギでしょう。
	製造業（化学工業）	更なる効率化（コストダウン）のため、改めて日常業務の内容、形態の見直しを進めている。
	建設業	3Kのイメージが強い建設業界は、依然として労働力不足がいわれております。イメージアップを推進していくのは一部業界だけではできないものではないので、広範囲にわたる運動が不可欠だと感じます。
	運輸業（道路貨物運送業）	県内のJA農産物特売所は、どこに行っても活気がある。本格的に宣伝するマインドが茨城県でも広がって来ていると感じている。いい事である。
	金融業	長期金利の上昇がマスコミによって報道されている影響からか、より金利にシビアになっていると感じます。
	保険業	株価上昇で儲けている人が見られる。
	不動産業	一般的にみなさん元気がないような気がする。景気が一部を除いて良くないためではないか？
雇用	サービス業	自動車およびその部品会社の分野において非常に明るい兆しがあり、引き合いが増加傾向にある。
	学校就職関係者	建設業の事業者が数社、求人のため来訪。求人が上向いてくれば景気も上向くのではないかと。
	就職支援センター	中央の掛け声の効果や一部の消費の上向きの動きなど地方ベースでは一向に感じられない。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	小売業（酒類）	小売店が減って来ているので人の流れがなくなってきているように思われます。
	スーパー	職種により、景気の良い話をされる方とそうでない話をされる方がいる様です。
	小売業（酒類）	最近、株に興味があるお客様が多くなった。
	小売業（生花店）	関連企業間の仕事協力関係の強化と、同業他社の排除の傾向が顕著に見える。たとえば、老人ホーム→葬儀屋→病院→墓石屋など、相互依存と手数料（取扱マージン）の要求など、業者間での囲込みが、顕著化しており、個人商店の存続が難しくなると思う。ネット上で、株価上昇以降、急に高額商品の動きが出て来た。
	農産物直売所	当店は農産物直売所なので野菜等は新鮮なので野菜は当店で買う人が多い。余分な物は買わない。
	和食食堂	「ついでに」もう一品、お土産等を買っていく等の余裕が見られるようになってきたと思います。
	洋食食堂	ここところ食材の値上がりが続き原価を圧迫している。不景気になり、ランチタイムの価格は10数年据え置いているが、そろそろ考えざるを得ない。
	洋食食堂	景気は良くなくても、設備の買い換え等は毎年あります（エアコン、冷蔵庫、食洗機など）。それでも（当店の場合）支払いができていますので、あまり望まずです。法事のお客様の予約が多い。
	寿司店	大型店とか、特定チェーン店等にお客様が集まる様に見える。小店舗はなかなか政治的経済的効果「アベノミクス」、来ないですね。
	都市型ホテル	業界的には、宿泊施設、結婚式場の新規参入することは少ないが、レストランはショッピングセンターなど出店の影響があり、減少しているため、個人需要の景気が捕らえにくい。店舗数が多くなると安価な料金に走りやすい。また、高単価需要層の接待減少は大きい。
	タクシー運転手	以前はタクシー利用のお客様が路線バスを利用しているのを見かける。
	タクシー運転手	特に大きな動きは感じませんが、交通量は多少増加した気がする。企業の飲食時のタクシー利用も多少増えた感じがします。
	タクシー運転手	今年に入り大型家電量販店が市内にオープンするも、客の足は鈍い。又、現在年内オープンに向けて市内中心部に別の大手家電量販店を建設中である。電機製品の価格競争が更に激化する模様だ。
	ゴルフ場	季節的な要因もあるが、徐々に景気が上向いているとの声を、お客様から聞くことがある。
	ゴルフ場	前年より来場者も増えており場内の雰囲気も活気を感じる。お土産の売上げも伸びているので余裕も出て来ているのだろうか？
	パチンコ店	年々、客単価の低下が見られる一方で、客足は変わらない部分もある事から、景気自体は悪くないと思う。しかし客の財布の紐は固いと思います。結果この先の景気は良くなるとは思えない。
	ボウリング場	先に待っている各種の値上げ決定や予想に対して使い控えになっている、なるのではないかと。特にサービス業関係への出費がまっ先に表れる。現に表れています。
	理・美容店	うちは理容店だが子供の客層が減っている。うちのお店は業界でいう普通料金店だが、子供達は俗にいう1,000円カットに流れているのだろう。子供に対する美容代を節約している模様。質より安さをとっているうちは景気が良くなったとは言えないだろう。まあこの事はお父さんにもいえるのだろうが。
	建築設計事務所	同業者同志の連絡（電話等）がなくなった。
	住宅販売会社	住宅購入により、家具・家電など身の回りの消費も増えていくので、増税前の景気は回復基調になると思う。
企業	製造業（家具・装備品）	私どもの商店会3軒が閉店致しました。大型店の影響と後継者不足と高齢という事で当地区では皆同じようです。
	製造業（食料品）	株等で儲かった人は一般人ではほんの一部で、今度の乱高下で大分損した人も出た様です。我々の業界では、お中元を抜きにして景気の動向は語れません。そういう時節的な事も景気の観察には必要なのではないでしょうか。
	製造業（窯業・土石製品）	株価の急落により先行き不透明感が増している。
	製造業（非鉄金属）	大手自動車メーカーについては、円安メリットがあるが、中小企業としては原材料値上げを価格転嫁しづらい状況とグローバル化による海外部品移転、国内競争激化によって先行きの見通しは不透明感が強まっている。
	建設業	アベノミクスの景気回復、大変期待出来そうかと思いきや、6月に入ってからの企業経営者の「口」が閉ざされてしまった。これ程急に増改築、改修工事の話題すら消えるとは。敷地を広く確保している企業には、銀行より融資するから、是非太陽光発電の工事をやらないかとお誘いが3~4件取引先よりあります。ただ、全ての企業がやると言うてはいない。3~4年先国の買い上げの法律も変わるのではと心配している向きもあるようです。
	建設業	身の回りの建設業関係の何人かと話したが、先月、今月と仕事が少ないと言っている。役所関係の工事も昨年ほどの量が出ていないと言う。地方公務員の給料まで引き下げられてしまうのだから、到底、役所関係工事の発注が増えるなんて夢物語なわけだ。
	建設業	特徴的ではないが、震災復旧の仕事はほぼなくなり平常化してきたように感じる。一服感があり、工事着工数、請負件数、請負額とも伸び悩んでいる。
	金融業	土浦市とつくば市での経済情勢の違いが感じられる。具体的には、新しい固定資産の投資や人口の推移などに違いを感じている。
不動産業	消費税アップ前の特需的なニーズは増えている。住宅関連、太陽光発電等伸びている。又、福祉関係の特養・特老・高齢者サービス付住宅等のニーズは高い。一部を除いた地価・家賃価格等は厳しい状態である。全体として明るくはなく企業間、業者間格差が広がっている。	

雇用	人材派遣業	アベノミクス効果で大手企業では景気回復とマスコミ等では言われているが、中小企業への効果はほとんど無く、逆に下がっている企業も多数見受けられる。
	学校就職関係者	住宅ローンの利上げなど先行き物価高やインフレが想定されており、ガソリン価格高騰に歯止めがかからない現況もあり、今後ますます買い控えが進むと思う。職場では電気自動車の購入など脱ガソリンの動きが見られ、今後買い換えに伴って増えていくのではないかと思う。
	求人開拓員	大きな施設ができると一時的に求人が増える。テナントのパート等である。最近落ち着いてきたがテナントの出店が止まってはいないようだ。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	身近(近所)な店で、生活用品全般を揃えることが、ますます難しい。個店が減る一方です。一市民は近くの店で買いたいのです(特に高齢者はそうである)。
	商店街代表者	1年位前は1か月に2回は5,000円, 1,000円, 500円, 100円を銀行で20万円位両替していた。今年に入って細かく支払いして下さる方が多く、反対に万券がなくて困る事が多い。どうい現象なのかとても気になります。
	時計販売店	株価が上がっている時は、高級時計の購入希望の引き合いなどがありましたが、最近ほとんどなくなりました。
	コンビニエンスストア	デフレが続き、安い物しか売れないという思いがあったが、直近で価値ある商品やテレビなどで紹介された商品は多少価格が高くても良く売れるようになってきている。お客様のデフレ(節約)に対する飽きを感じられる。
	家電販売店	住宅購入の話が増えている(2か月~3か月先が多い)。
	和食食堂	かねてより計画のあった近隣地域への大手企業の移動が徐々に始まり、インフラ整備等が進んでいます。これが地域経済発展に継がる様期待しています。
	和食レストラン	企業進出に伴ってか、コンビニエンスストアの出店が目立っています。外食産業ではありませんが、やはり影響は感じられます。
	旅行代理店	お客様の財布の紐が少し緩くなっている様に感じます。お土産は控えめだったが、手さげ袋になったようです。以前に比べたら、まだまだ戻ってはいません。金利を上げないでほしい。
	ビジネスホテル	閉店して無人状態のスーパーの取り壊しが決定したようなので、何らかの出店につながる動きになる事を期待。隣町の新しい複合住宅地の動きに注目している。
	タクシー運転手	古河地域では、まだまだ景気回復の実感は伴わないと感じている。
	タクシー運転手	ムードは明るい。
	タクシー運転手	近所でも家を新築する人が多くなって来た(消費税が上がるから)。でも景気が上がりそうだから建て替えをするという。
	ドライブイン	新店舗、住宅の建設が目立つ。
	ゴルフ場	お土産品などの売れ行きが良くなってきている為、商品内容等の工夫をすれば市場全体として消費傾向が高まってくるような気がする。
	日本料理店	自分も含めて消費意欲が沸かない。先を見すえ、節約志向に走ってしまう。
	ゲームセンター	お客様の来店人数の減少も大きいですが、工場系やトビ職系の方が本来仕事をしているはずの時間に遊びに来ている事が目立ってきているので、周辺地域の仕事が減ってきているのではないかと思います。
	理・美容店	ムダ使いする人は減ったと思うが、電化製品など新しく買い換える人が多い気がする。そういうものは、けっこうみな、お金をかけて長く使う人が多いようだ。
建築設計事務所	多少なりとも金があるアラフォー以上の世代はアベノミクス効果を受けてニコニコ顔もいる。しかしもともと金が無い若い人たちはアベノミクスを透かし見てもうちよっと先を見ているようだ。若者に景気の良さを実感させることを最優先したい。	
企業	製造業(食料品)	一時は、アベノミクスが明るい話題として周りで話されていたが、この数日の株や為替の乱高下の報道や消費増税等の後向きな会話が多くされている。
	製造業(印刷・同関連業)	数日前に所用で東京(上野・浅草・銀座方面)へ行ったが、あの賑わいは何なのか!それに比べて地方の元気のなさ!一流上場企業の3月期決算の大変多い利益巾!それに比べて地方の零細企業7~8割が赤字申告とのこと。この格差巾は日本にとっても「安心・安全」「やりがい・生きがい」等すべてにおいて望ましいことではない。
	製造業(印刷・同関連業)	株価の値上りで、明るい雰囲気になっていたが、もちろん崩れさり、先行きが不安になる。金融政策により、銀行には金庫に入り切れない程の現金が貯り、それが経済活動の血液となり循環すれば、景気が良くなると思うが、はたして本当にそのようになるのか。
	製造業(窯業・土石製品)	どこの町、市へ行ってもシャッター通りが多くなっているのが目に見えて実感できる近年です。しかし、ある一方ではうらやましいくらいのお客様が、来店されている店も見受けられます。他店では、できない、やらない、から、又、やれぬことをやっているから、お客様から選ばれて必要とされるのでしょうか。
	製造業(金属製品)	車関連を中心に海外生産が増え続けている。北関東の製造業ではデフレスパイラルは止まっていないと感じられる。国の援助策による事業であっても、援助はユーザーだけであり、製造側の価格競争は激しくなるばかりである。
	建設業	景気が良くなってくるのは選挙が終わってからかもしれない。
	金融業	再生可能エネルギーの太陽光発電パネル設置を検討している方が多い。
	不動産業	消費税増税、住宅ローン金利上昇の影響か住宅用地購入者が増加傾向にある。
	雇用	人材派遣業
公共職業安定所		新制度(助成金)の問い合わせや、助成金を活用しての採用を検討する事業所が増加している。
学校就職関係者		中国の件費アップに伴い、石材屋さんの加工が戻ってきている。
求人開拓員		内職を求める人が増えている。